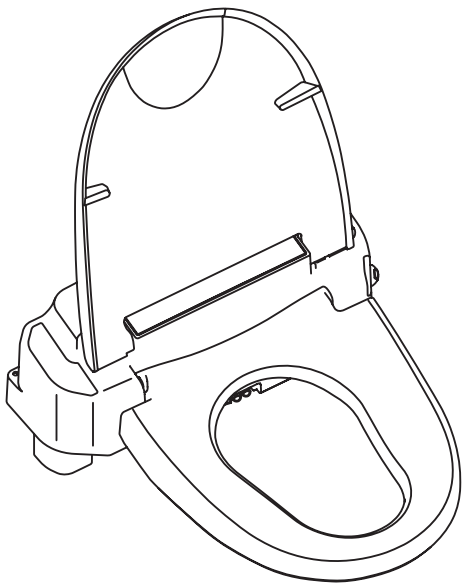


温水洗浄便座
ファミレット[®]
HC-3000シリーズ



保証書付

- このたびは、ハウステック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- 末永く快適にご使用いただくため、設置期日および定期点検日を37ページの表に記入してください。
- お読みになった後は、大切に保管して、必要なときにご参照ください。
- 本商品には定期的に点検が必要な部品があります。

も く じ

お使いになる前に	機能の確認	2
	付属品	3
設置説明	安全上のご注意	4
	各部のなまえ	5
	配管の確認と準備	8
	取付手順	9
	(試運転)	17
使いかた	使用上のご注意	20
	おしり洗浄	24,28
	ビデ洗浄	24
	温風乾燥	24,28
	部屋暖房	29
	節電モード	26
お手入れ・凍結予防	お手入れのしかた	30
	凍結予防について	33
仕様・アフターサービス	仕様	34
	故障かなと思ったとき	35
	アフターサービスについて	36
	サービス網一覧	39



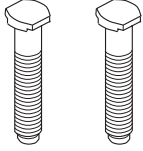
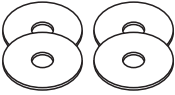


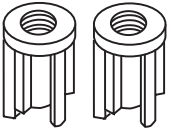
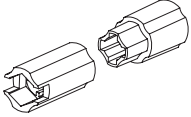
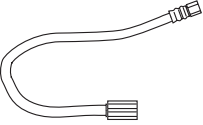
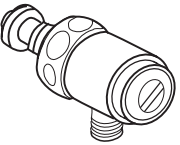
取扱説明書を読まれる前に、次の表からお買い求めいただいたファミレットの機能をご確認ください。

型 式	おしり洗浄 ビデ洗浄	新おそうじ スリット*便座	お掃除 給水	部屋暖房	温風乾燥	触媒脱臭	リモコン	トリプル シャワー	ノズル 位置調節
HC-3000TH	○	○	○	○	○	○	大型	○	○
HC-3000T	○	○	○	-	○	○	大型	○	○
HC-3000D	○	○	○	-	-	○	大型	○	○
HC-3200T	○	-	○	-	○	○	標準	-	-
HC-3200D	○	-	○	-	-	○	標準	-	-
HC-3200E	○	-	○	-	-	-	標準	-	-
HC-3300D	○	-	○	-	-	○	標準	-	-
HC-3300E	○	-	○	-	-	-	標準	-	-

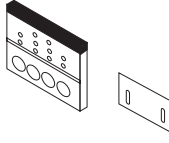
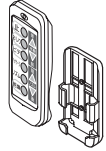
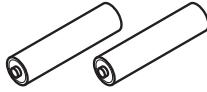
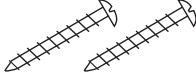

↑ 型式は便座ふた内側に貼ってあるラベルの右上に表示してあります。
お買い求めいただいたファミレットの型式をご確認いただき、型式欄の左に印をつけておいてください。

付 属 品

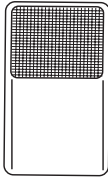
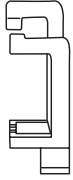
全型式共通

	取扱説明書 (保証書付)
	アース線
	取付ボルト (L115mm)
	平パッキン 3mm (おそうじスライド 付きは無し)
	半丸パッキン
	スリップワッシャ
	ナット
	便座取付工具
	連結ホース (パッキン付)
	分岐金具



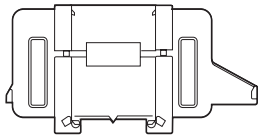
リモコン

	大型	リモコン ホルダー
	標準	
		単三乾電池
		木ねじ
		アンカープラグ

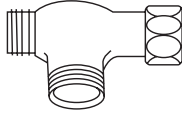
脱臭機能付きのみ

		脱臭カセット ガイド
--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------

おそうじスライド付きのみ

	平パッキン 2mm
	ゴムスペーサー
	おそうじスライド

HC-3300 シリーズのみ

	BK-ADP (パッキン付)
--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------

設置説明

お願い

- 電気工事、水道工事が必要な場合は、必ず電気工事店、水道工事店に依頼してください。
- 設置後は取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

安全上のご注意

警告



浴室など、湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因になります。



中水道や工業用水の水道に接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

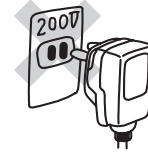


アースを必ず取付ける
D種（第三種）接地工事をしてください。
故障や漏電のとき感電の原因になります。

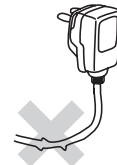
注意



交流 100V 以外は使用しない
火災や感電の原因になります。



電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

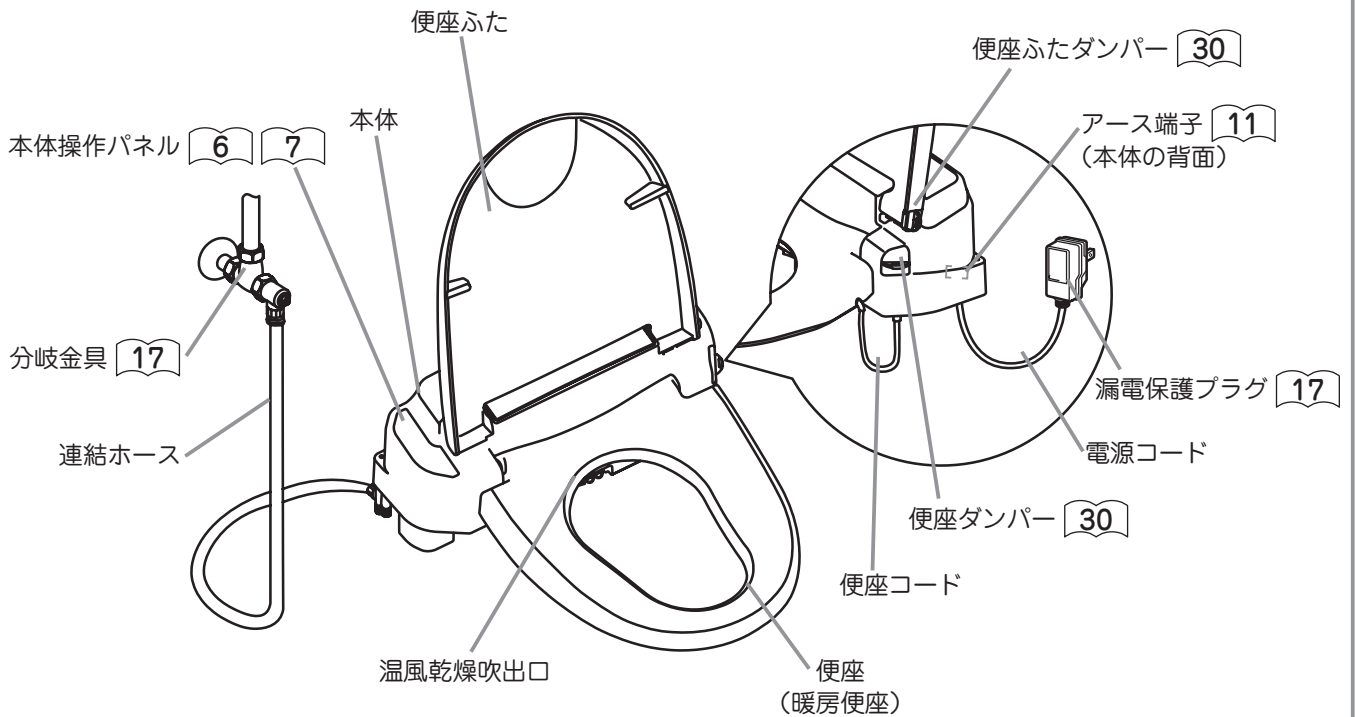


- 直射日光の当たる場所やストーブ、暖房用ヒーターの近くには設置しないでください。
- 電源は交流 100V (50/60Hz) 消費電力 600W に適した配線のコンセントを使用してください。

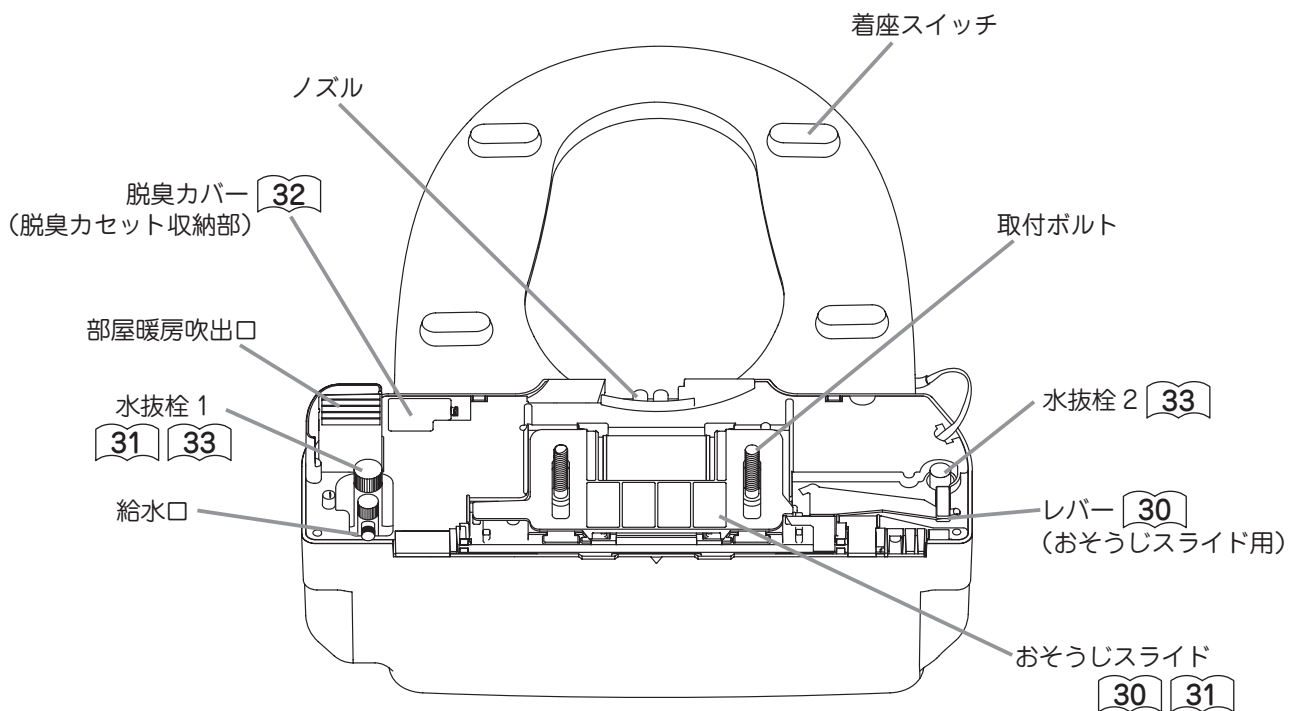
各部のなまえ

の数字は参照ページです。

本体表側

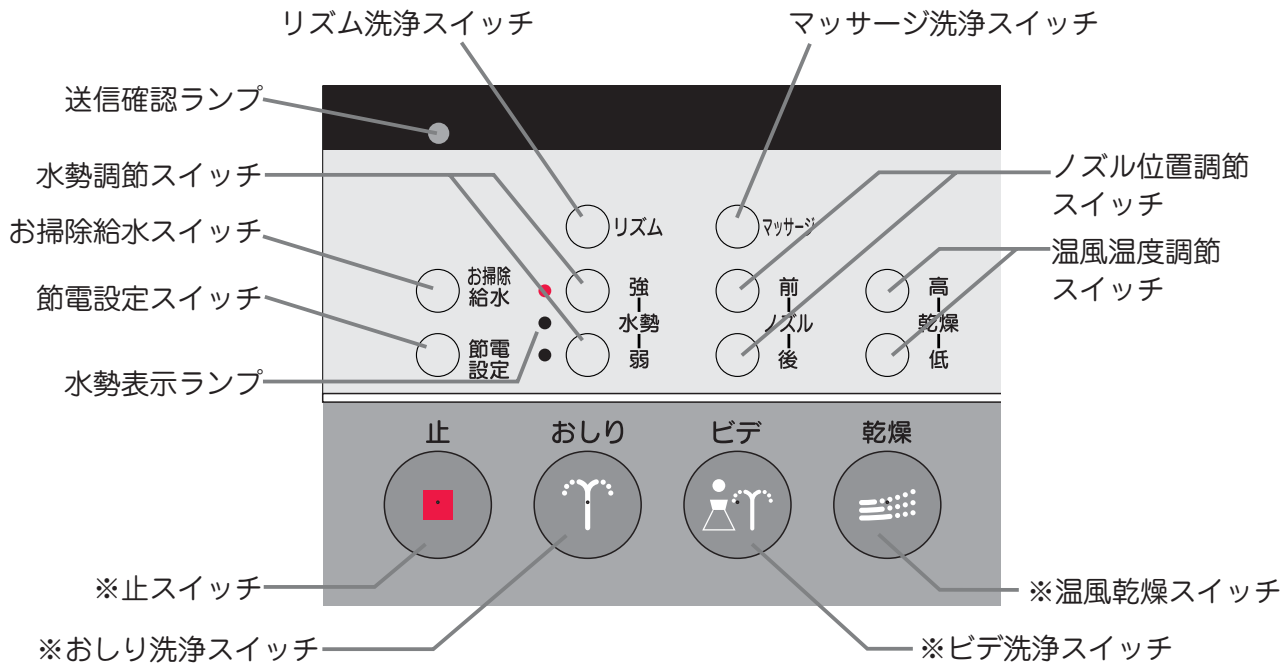


本体裏側



大型リモコン操作パネル

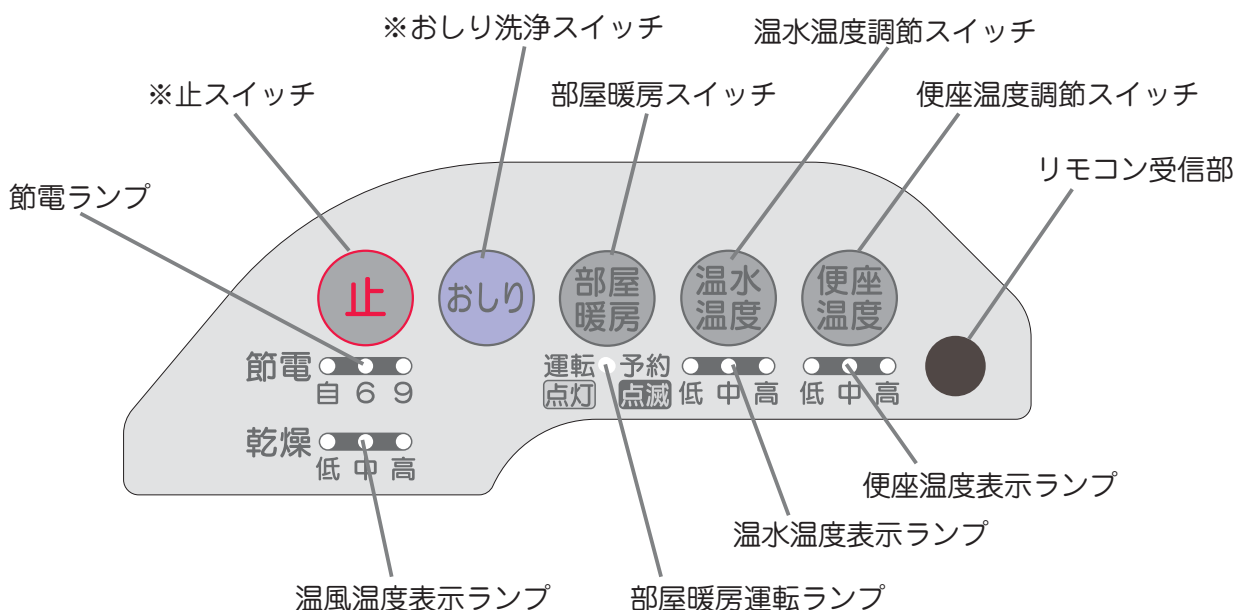
イラストは温風乾燥機能付き（HC-3000TH/T 用）の操作パネルを示しています。



※印のスイッチに点字を設けています。

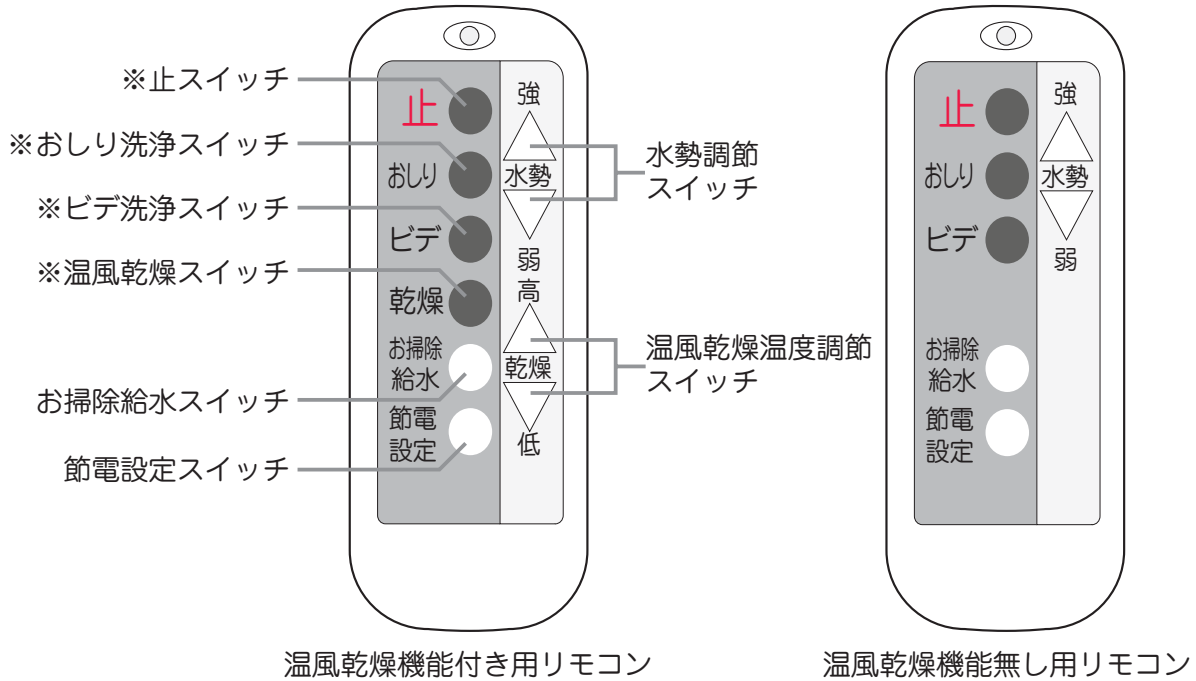
大型リモコン用本体操作パネル

イラストは部屋暖房、温風乾燥機能付き（HC-3000TH 用）の操作パネルを示しています。



※印のスイッチに点字を設けています。

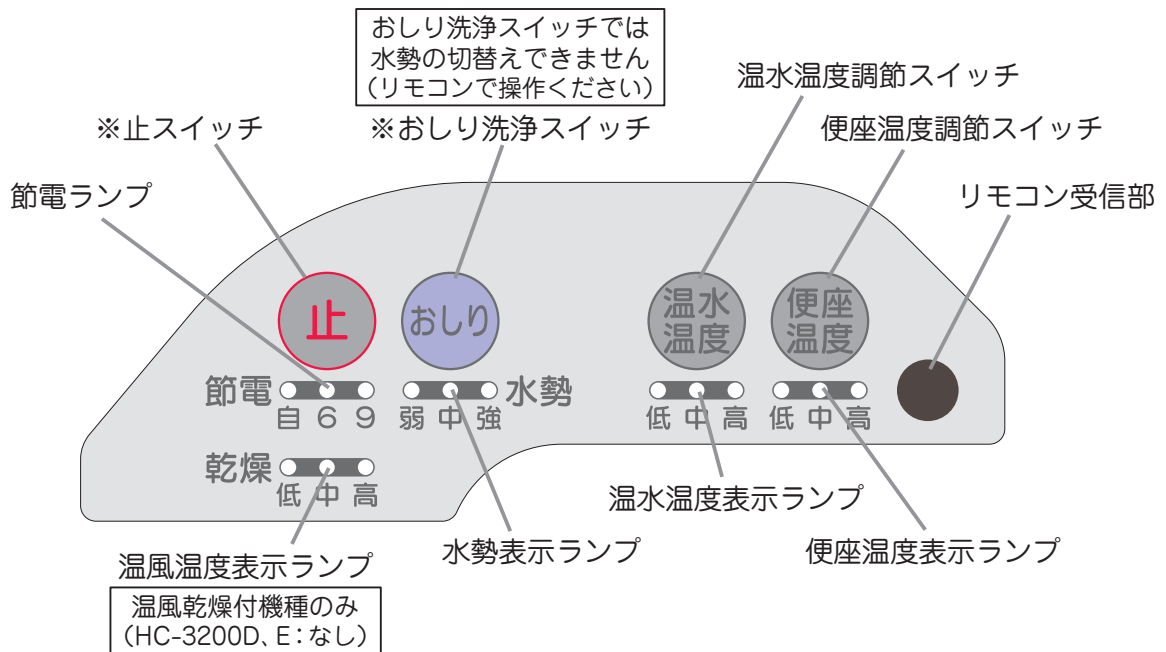
標準リモコン操作パネル



※印のスイッチに点字を設けています。

標準リモコン用本体操作パネル

イラストは温風乾燥機能付き（HC-3200T 用）の操作パネルを示しています。



※印のスイッチに点字を設けています。

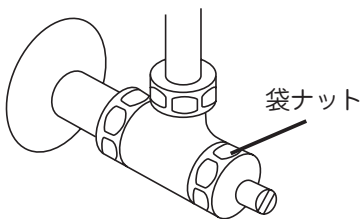
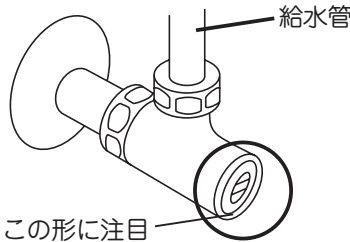
配管の確認と準備


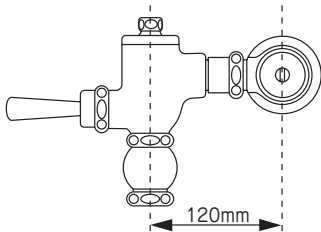
(トイレ配管の種類と必要部品)

トイレ配管の種類によっては、付属品の他に、別売部品が必要な場合があります。

下表でご確認の上、お買い求めの販売店にご相談ください。

- おそうじスライド付きでは、止水栓が便器に向かって右側にある場合や、本体の給水口から遠い位置にある場合、連結ホースの長さが不足して、おそうじスライドの操作に支障となることがあります。長尺の連結ホースを別途お求めください。
- 配管の際、スパナとマイナスドライバーが必要となります。

	一般の止水栓	内ねじ止水栓
トイレ配管	 <p>同梱の分岐金具のみで取付可能です</p>	
BK-ADP 分岐金具アダプタ	_____	○ HC-3300 シリーズは付属
その他	_____	給水管の切断は、給水管の代わりにフレキパイプ(別売)を使用すれば不要

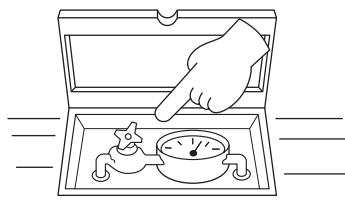
	寒冷地用給水管(止水栓なし)	フラッシュバルブ式
トイレ配管		<p>{ 東陶製フラッシュバルブ } { 給排水芯々 120mm の場合 }</p> 
BK-ADP 分岐金具アダプタ	○ HC-3300 シリーズは付属	○ HC-3300 シリーズは付属
FV-ADP フラッシュバルブ アダプタ	_____	○
その他	東陶製給水管 T5MF7N (市販品) が別途必要	_____

工事についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

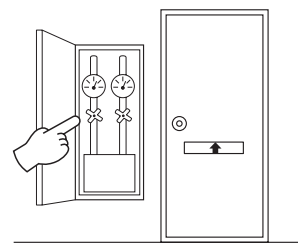
取付手順

1 水道の元栓を閉めます

- (1) 水道の元栓を閉めます。
●元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機など水を使用中の器具がないことを必ず確認してください。
- (2) 元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が止まっていることを確認します。

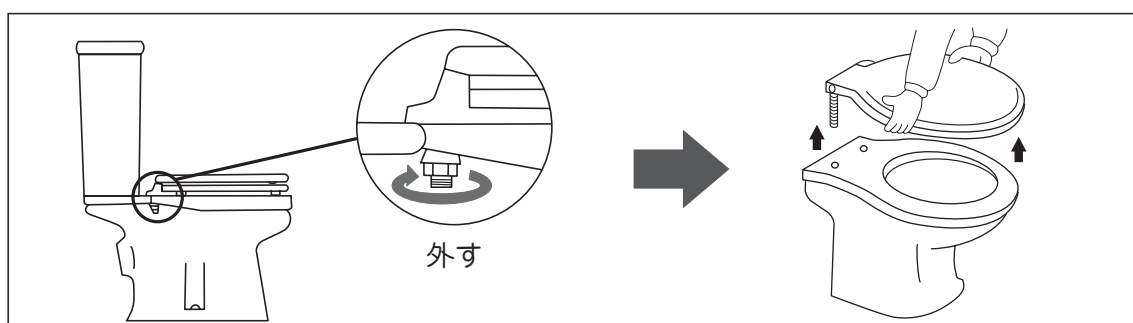


戸建住宅



集合住宅

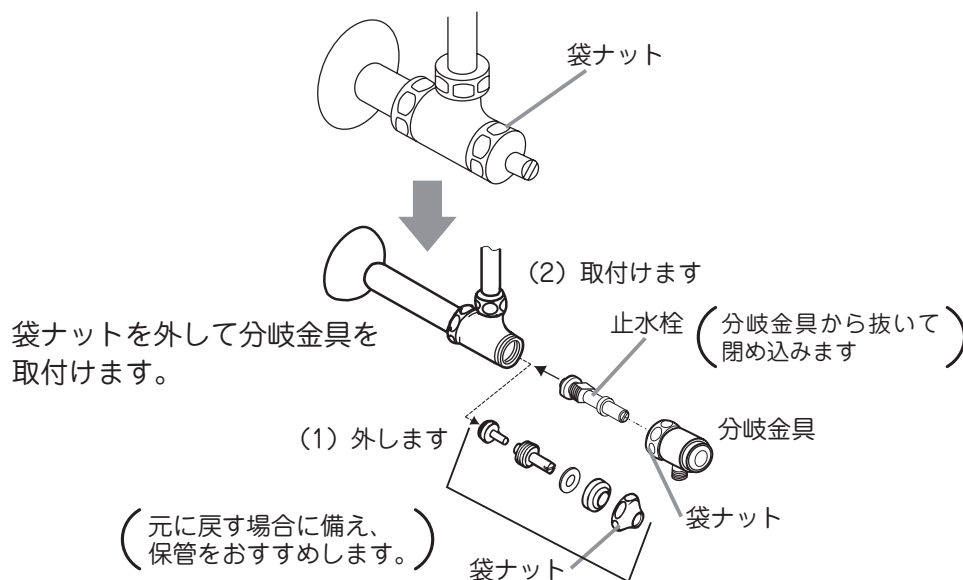
2 既設便座、便座ふたを取外します



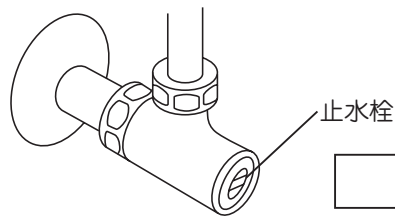
3 分岐金具を取付けます

- 袋ナットを外すとき、配管内の残水がでますので広口の容器で受けてください。
- 分岐金具を取付ける際、分岐金具の止水栓を右に回し切ってから取付けてください。
- 止水栓を右に回し切らずに、分岐金具を締め込むと止水できない場合があります。
- 分岐金具の袋ナットは手で強くねじ込んだ後、スパナなどで約半回転(180°)締め付けてください。
- 再度袋ナットが締まっていることを確認してください。

一般の止水栓の場合

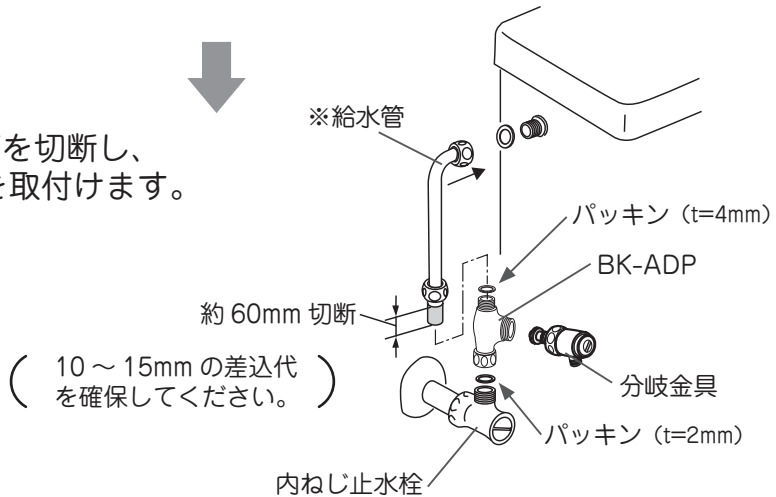


内ねじ止水栓の場合




BK-ADP を用意します

止水栓を閉め、給水管を切断し、BK-ADPと分岐金具を取付けます。



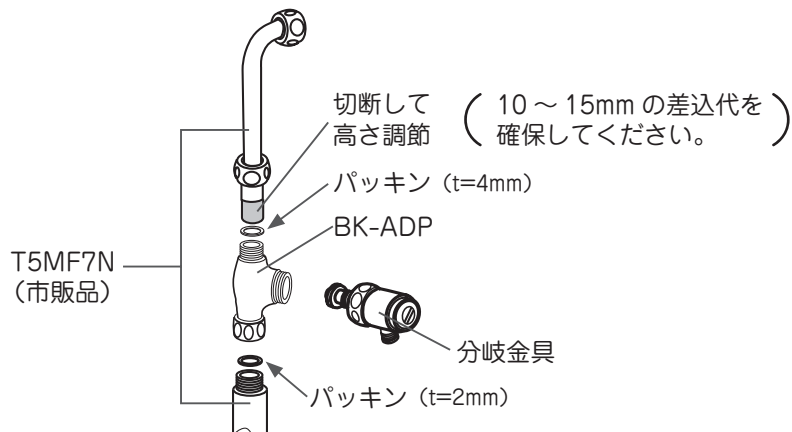
※給水管の代わりにフレキパイプ（別売）を使用すれば、給水管を切断することなく取付けられます。

フレキパイプ (別売)	パーツ No.	長さ
	HC-200PT018	150mm
	〳 019	200mm
	〳 020	300mm
	〳 021	400mm
	〳 022	500mm

寒冷地用給水管（止水栓なし）の場合

東陶製給水管 T5MF7N（市販品）と BK-ADP を用意します。

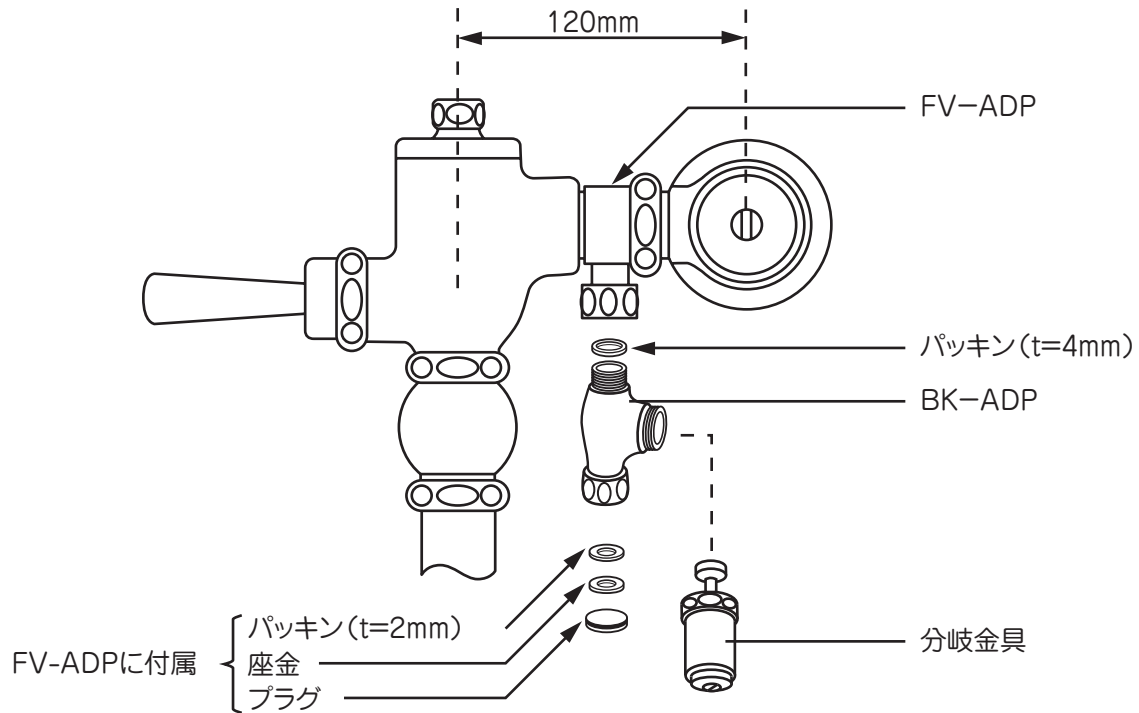
給水管を東陶製給水管 T5MF7N に取り替え、BK-ADP と分岐金具を取付けます。



フラッシュバルブ式の場合

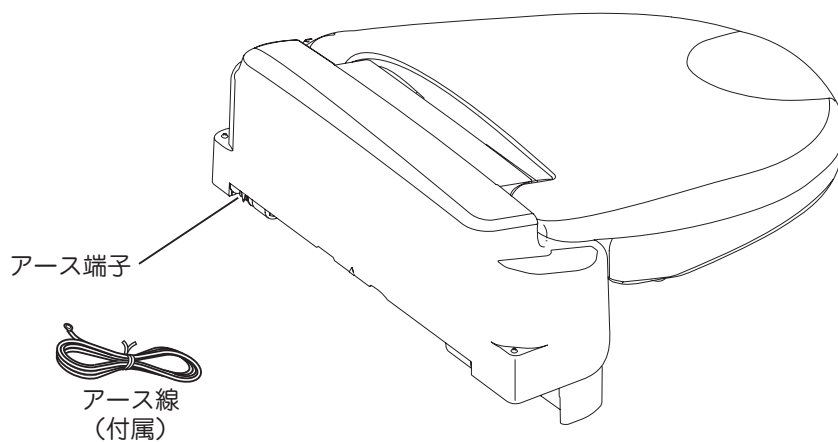
FV-ADPとBK-ADPを用意します。

接続管をFV-ADPに取り替え、BK-ADPと分岐金具を取付けます。



4 アース線をアース端子に取付けます

アース線をアース端子に取付け、他端をコンセントのアース端子へ取付けます。



5 本体を取付けます

(1) 連結ホースを本体に接続します。

ホースを持って給水口へまっすぐ差し込み、ナットホルダーを右に回してクリック感が無くなるまで締め付けます。

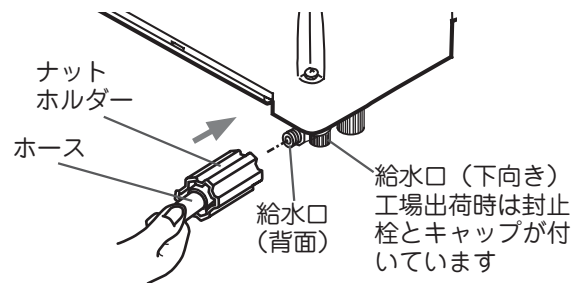
確実に接続するため、連結ホースは本体を便器に取付ける前に接続してください。

- おそうじスライド付きでは、止水栓が便器に向かって右側にある場合や本体の給水口から遠い位置にある場合、連結ホースの長さが不足して、おそうじスライドの操作に支障となることがありますので、長尺のホースを別途お求めください。
- ナットホルダーを締めた後、ホースが抜けないか軽く引いて確認してください。
- 連結ホースは下向きにも取付けられます。
この場合は封止栓とキャップを背面の給水口に取付けます。

注意



ナットホルダーは手で締めてください。締め付け途中で、ホース等に無理な力を加えないでください。締めた後、ホースが抜けないことを確認してください。給水口に過大な力が加わると破損したり、接続が不確実な場合は水漏れします。

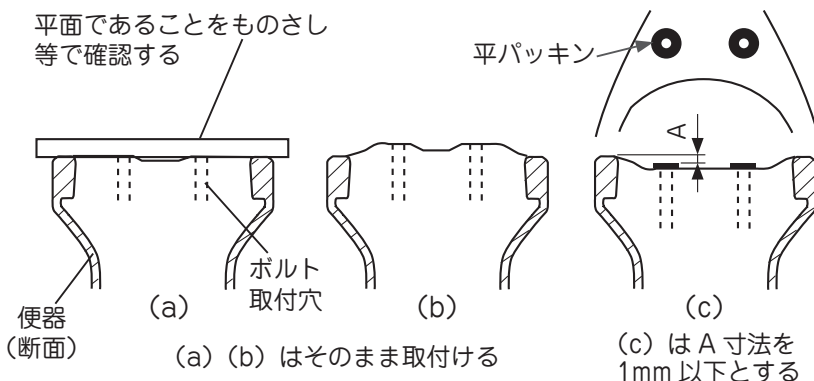


(2) 本体を便器に取付けます。

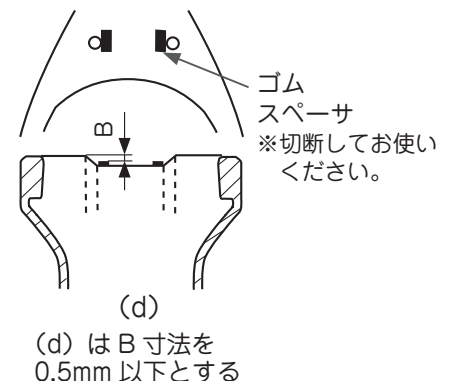
おそうじスライド付きの場合

- ①おそうじスライドの取付け面が平面であることを確認します。(ものさし等を取付け面に当て確認する) おそうじスライド操作が円滑に行えるように取付けるには、取付け面がほぼ平面であることが必要です。凹凸がある場合は次の図を参考に平パッキンやゴムスペーサで平面出しを行います。(凹凸が大きい場合は、平パッキンとゴムスペーサの併用あるいはゴムスペーサを重ね貼りして対応します)

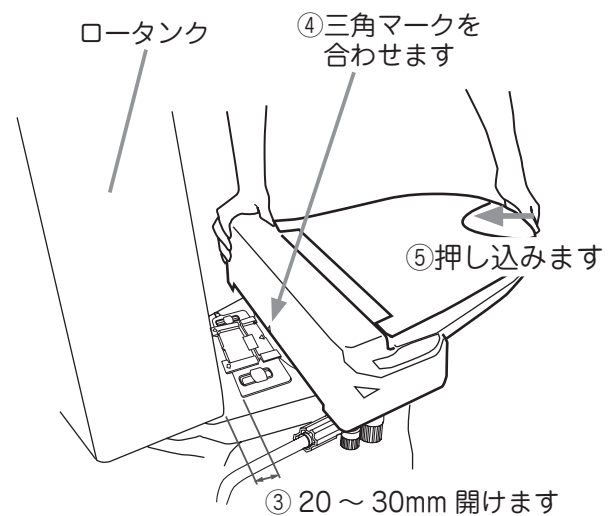
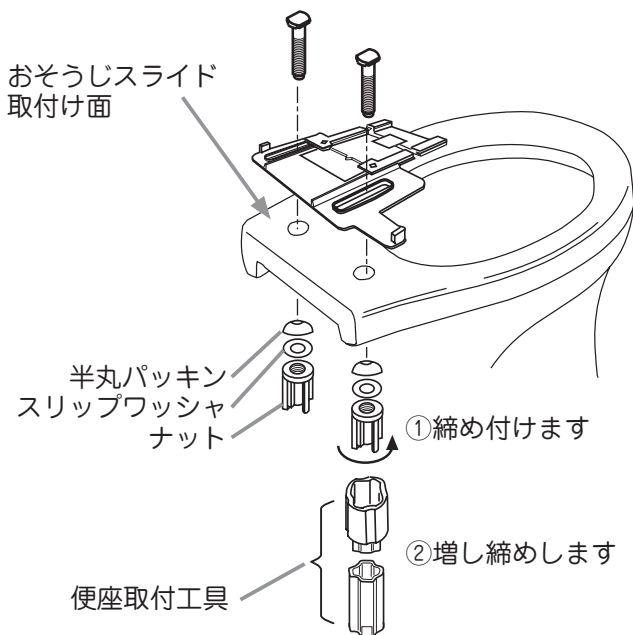
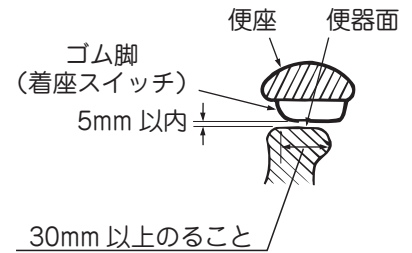
ボルト取付け穴の周りが平らである場合



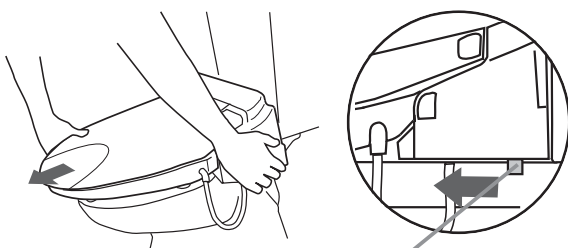
ボルト取付け穴の周りが凹凸の場合



- ②おそうじスライドに取付ボルトを差し込み、便器に乗せます。
- ③取付ボルトに半丸パッキン・スリップワッシャ・ナットの順に入れ、おそうじスライドをロータンクより20～30mmの位置に取付けます。
- ナットは押し上げると締め込み位置まで移動します。
- ④おそうじスライドと本体の三角マークを合わせて、本体をおそうじスライドのレールに差し込みます。
- ⑤本体をレールに差し込む途中で「カチッ」と音がします。さらに「カチッ」というロック音がするまで、ゆっくり押し込んでください。
- ⑥便器の先端が見える場合は、ナットを緩めて便器と便座の先端を合わせてから、再度便座取付工具でナットを増し締めします。
- 便器の先端からロータンクまでの寸法が550mm以下の場合、便器先端より便座が飛び出します。
- ⑦おそうじスライド便座が円滑に動作するか下図のように確認します。
- 便座ゴム脚の便器からの浮き上がりは5mm以内にしてください。
 - おそうじスライドしたとき、連結ホース・電源コードが引っ掛からないことを確認してください。水漏れ等の原因になります。
 - 便座ふたと便座が止まるまで開き、前に倒れてこないことを確認してください。
 - おそうじスライドを戻したときロータンクに当たらないことを確認してください。本体破損の原因になります。
 - 若干のガタツキがありますが、おそうじスライドの隙間によるもので、異常ありません。

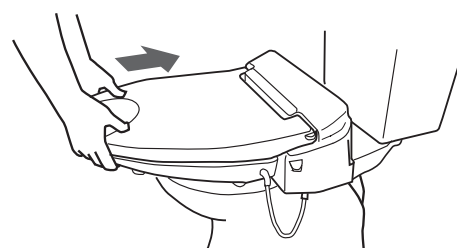


おそうじスライドのしかた



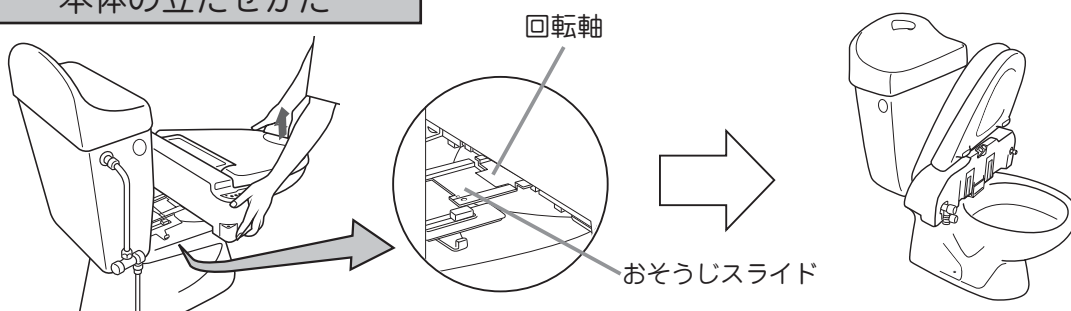
便座を持ち上げ、本体右下のレバーを引きながら、本体を手前にゆっくり引きます。

おそうじスライドの戻しかた



便座を持ちながら「カチッ」とロック音がするまでゆっくりと押しします。

本体の立たせかた



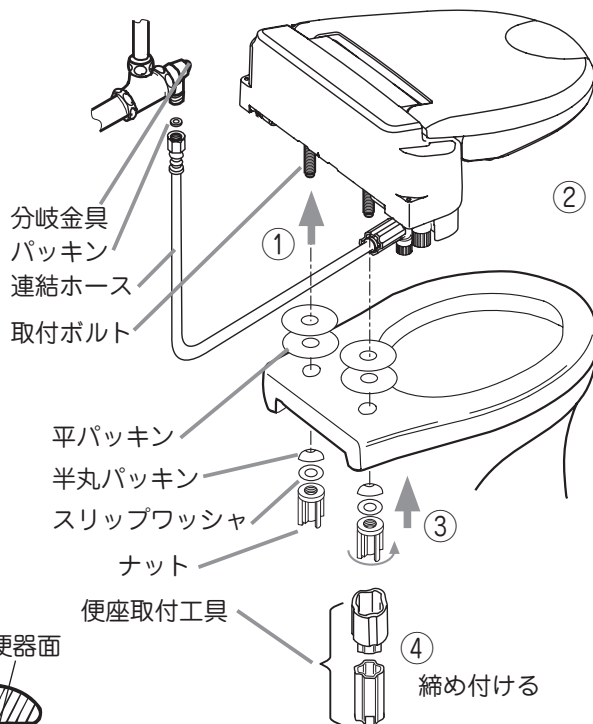
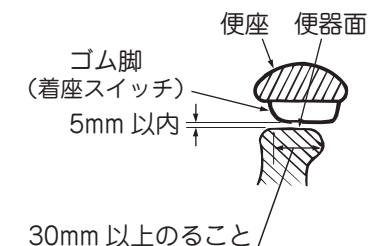
本体を最大までスライドさせた状態で、本体と便座を持ちながら、おそうじスライドの回転軸を中心に、本体背面がおそうじスライドまたはロータンクに接するまでゆっくりと本体を回転させて立たせます。

- 電源が入った状態で立たせた場合、ピーという警告音が鳴り、本体操作パネルのLED が点滅し、本体の動作を全て停止状態にします。漏電保護プラグを抜いてから立たせてください。
- 便器の寸法によっては、本体がロータンクに当たり、斜めとなることがあります。
- 便座と便座ふたは必ず閉じた状態で本体を回転させてください。開いた状態で回転させた場合、便座や便座ふたで手や指を挟むことがあります。
- 本体を立たせた際は、連結ホースがつっぱったり、折れたりしないように注意してください。給水口または連結ホースが破損し水漏れの原因になります。
- 本体を回転させている途中または立たせた状態で無理な荷重をかけないでください。本体が破損する原因になります。
- 本体を元に戻す際は、本体底面が便器と接するまで本体と便座を持ちながら回転させてください。その後、おそうじスライドを戻してください。

おそうじスライド無しの場合

- 脱臭機能付きの場合は、脱臭カセットを装着してから本体を便器に固定してください。

- ①取付ボルトに平パッキン各2枚を差し込み本体へ取付けます。
- ②本体を便器に乗せ、先端を合わせます。
 - 本体は前後に位置調節できます。
 - 便器の寸法によっては便座が便器より飛び出すことがあります。
- ③取付けボルトに半丸パッキン・スリップワッシャ・ナットの順に入れ、ナットを止まるまで押し上げ締め付けます。
 - 便座を止まるまで開き、倒れてこないことを確認してください。
- ④本体がガタつかないように便座取付工具で締め付けます。
 - 便座ゴム脚の便器からの浮き上がりは5mm以内にしてください。



- (3) 連結ホースを分岐金具に取付け、スパナで締め付けします。

6 脱臭カセットを取付けます（脱臭機能付きのみ）

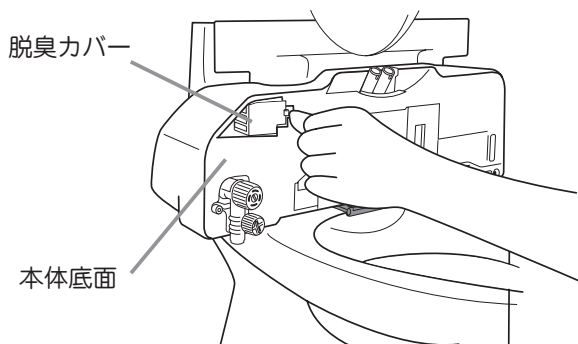
脱臭カセットを本体の脱臭カセット収納部を取付けます。

●おそうじスライド付きの場合は、本体を便器上で立たせた状態で脱臭カセットを取付けます。

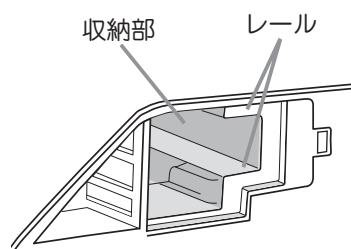
●おそうじスライド付きでない場合は、本体を便器に取付ける前に脱臭カセットを取付けてください。

本体を便器に取付けてしまった場合は、前頁を参照し、ナットをいったんゆるめて本体を引き出し、下図のように便器の上で本体を立たせた状態で脱臭カセットを取付けます。

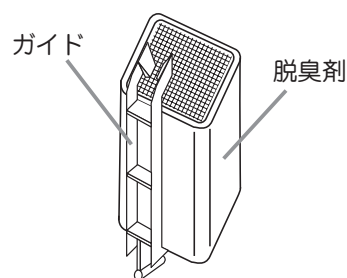
- ①本体底面の脱臭カバーを外します。
- ②ガイドに脱臭剤を挟み込みます。
- ガイドの位置は図のように端に寄った位置に脱臭剤をはさみこんでください。
- ③ガイドと収納部のレールを合わせ、脱臭カセットを収納部に脱臭ガイドが完全に収納するまで挿入してください。
- ④脱臭カバーを元通りに取付けます。
- ⑤ラベルに使用開始日を記入し、本体のわかりやすい場所に貼付けてください。



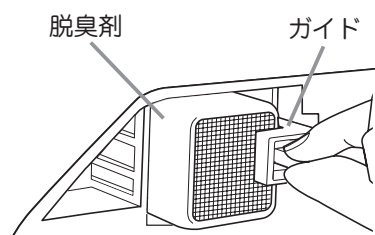
収納部



ガイドの取付けかた



脱臭剤の装着のしかた



脱臭カセット取付け、交換時のご注意

脱臭カセットを取付けまたは交換する際には、次回交換の目安として、脱臭カセットのラベルに使用開始日を記入してください。

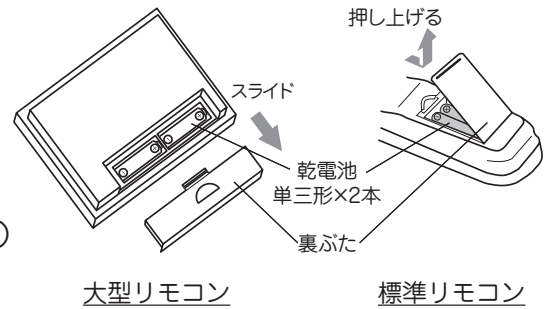
●脱臭剤の寿命は通常使用で約7年です。

※脱臭剤の寿命は4人家族を基本としています。

7 リモコンを取付けます

(1) 電池を入れる

- ① リモコンをホルダーより取出します。
- ② 裏ぶたを外します。(右図)
- ③ 電池を入れます。
 - ⊕ ⊖ の向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
 - 電池の寿命は通常約1年です。(マンガン乾電池の場合)
 - 取替えは2個とも新しい同種のものにしてください。
 - 2ヶ月以上ご使用にならないときは電池を取出しておいてください。
- ④ 裏ぶたを取付けます。

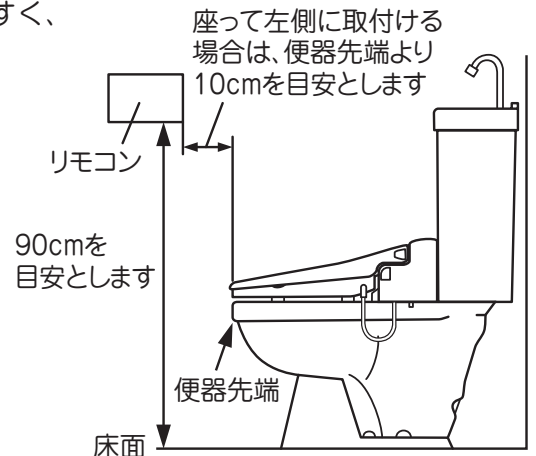


(2) 取付け位置を決めます。

本体操作パネル側の壁または便座に座って正面の壁を選びます。


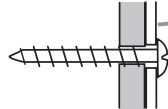

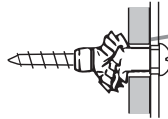

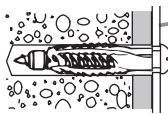
取付けの都合上、座って左側の壁に取付ける場合は、便器先端より10cmの位置を目安とします。

- ホルダーを取付ける前に、便座に座った状態で操作しやすく、受信可能な位置であることを十分確認してください。
- 取付不可の場所
 - ・ ドア等取付部分が動く場所
(開閉の衝撃が故障の原因になるため)
 - ・ トイレットペーパーやタオルなどで覆われる場所
(赤外線信号を妨げるため)



(3) ホルダーを取付けます。

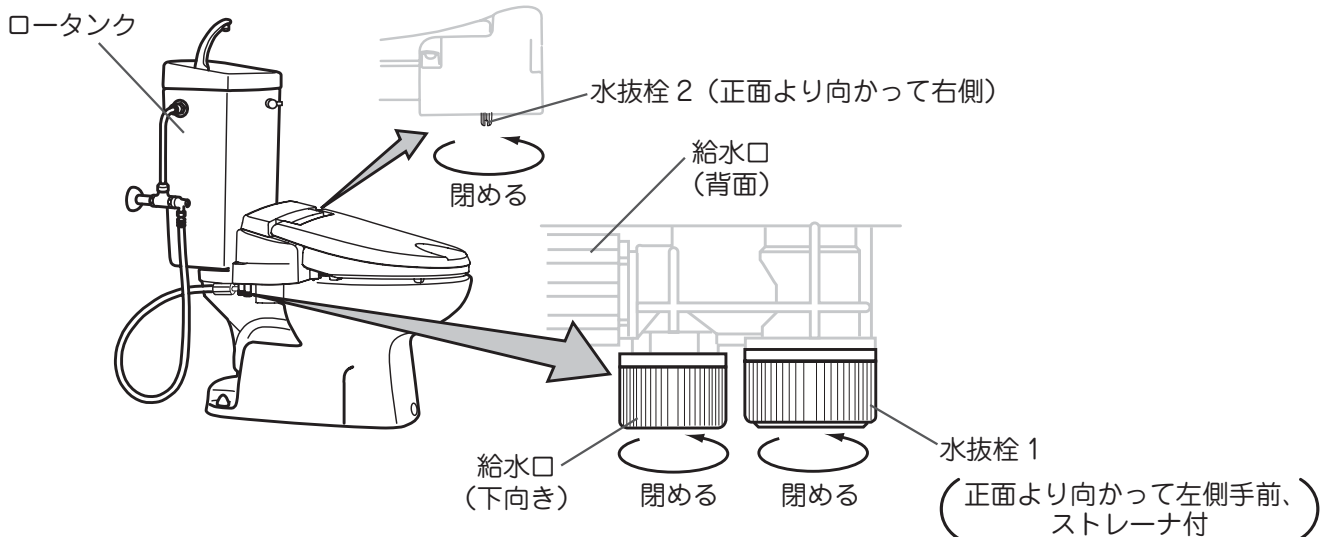
- ① ホルダーを取付位置に当て、取付穴の位置に印をつけます。
 - 大型リモコンの場合、ホルダーの3個の取付穴の内、外側の2個を使用します。
- ② 壁の種類により次のように取付けます。

壁の種類	取付部品 (付属品)	取付方法	使用工具
板厚 5mm 以上の板壁	 木ねじ (2本)	 ホルダー 木ねじをホルダーに通し直接固定します。	・ プラスドライバー
板厚 5mm 以下の板壁	 アンカープラグ (2本)	 ホルダー 下穴 内径 6mm 1 下穴 (内径 6mm) をあける。 2 アンカープラグを打ち込む。 3 木ねじをホルダーに通しアンカープラグに締め込む。	・ プラスドライバー ・ 電動ドリル
タイル・コンクリート壁 石膏ボード	 木ねじ (2本)	 ホルダー 下穴 内径 6mm 1 下穴 (内径 6mm) をあける。 2 アンカープラグを打ち込む。 3 木ねじをホルダーに通しアンカープラグに締め込む。	・ ハンマー

8 試運転をします

(1) 温水洗浄便座に給水します。

①給水口と水抜栓1及び水抜栓2が閉まっていることを確認してください。



●給水口は2箇所ありますので、一方が連結ホースに接続していること、他方が閉まっていることを確認してください。

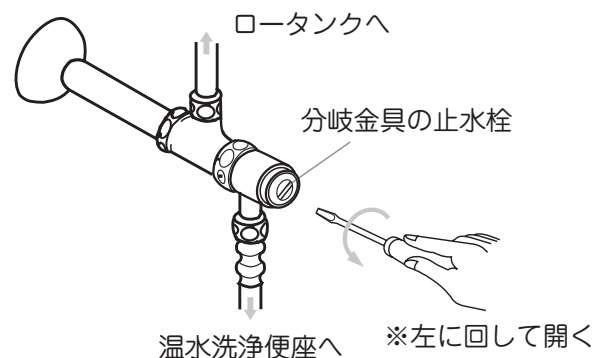
②水道の元栓を開きます。

③分岐金具の止水栓を開きます。

マイナスドライバーで、分岐金具の止水栓を左に回して開きます。

●分岐金具や連結ホースの接続部から水漏れがないことを確認してください。

④ロータンクに給水されることを確認してください。



(2) 本体に通電します。

①コンセントに漏電保護プラグを根元まで確実に差し込みます。

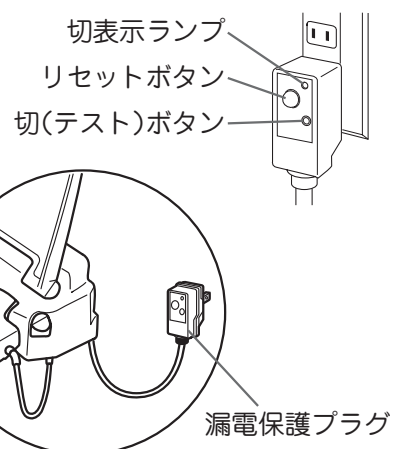
②漏電保護プラグの作動テストを行います。

切(テスト)ボタン(●直径約5mm)を押し、切表示ランプが点灯することを確認してください。

●切表示ランプが点灯している間は本体に通電されません。

③本体に通電します。

入(リセット)ボタン(●直径約10mm)を押し、切表示ランプが消灯し、本体操作パネルのランプが点灯することを確認してください。



お願い

●月に1～2回は、切(テスト)ボタンを押しして作動テストをしてください。

●作動テストをすると洗浄水勢、各種設定温度は初期状態に戻ります。再調節してください。

(3) ノズルから洗浄水が出ることを確認します。

リモコンのお掃除給水スイッチを押して、ノズルから洗浄水が出ることを確認します。

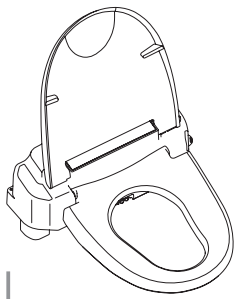
- 通電後約30秒間は、自動的にノズルの作動テストを行いますので操作できません。約30秒たってから操作してください。
- お掃除給水スイッチを押してノズルから洗浄水が出るまでに約1～2分間かかります。
- 給水中に便座に座った場合、給水を停止します。便座に座った状態で、おしり洗浄またはビデ洗浄スイッチを押した場合は洗浄モードとなり、給水が継続、ノズルから洗浄シャワーが出ますので注意してください。
- 洗浄シャワーは、温水タンクが満水になってから約7分後に温水になります。
- ノズルから洗浄シャワーが出る前に停止したときは、再度お掃除給水スイッチを押してください。



●以上で取付完了です。

「使いかた」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※すぐにご使用にならない場合は33ページの「凍結予防について」をよくお読みのうえ、水抜きを行ってください。





メモ欄として活用してください

使いかた



使用上のご注意

- ご使用前にこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合はやけど注意）が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。

 警告	
修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わない  ●発火したり、異常動作をしてけがをすることがあります。	浴室など、湿気の多い場所には設置しない  ●感電や火災の原因になります。 
本体や漏電保護プラグ部に汚水や水をかけない  ●火災や感電の原因になります。 	中水道や工業用水の水道に接続しない  ●ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。



警告



低温やけどのおそれあり

- 幼児や身体の不自由な方は、付添いなしでは使用しないでください。
- 次のような方が使用されるときには周りの方が注意してあげてください。お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、身体の不自由な方、眠気を誘う薬（睡眠薬や風邪薬など）を服用された方や、深酒、疲労の激しい方。

部屋暖房吹出口の近くに可燃物を置かない

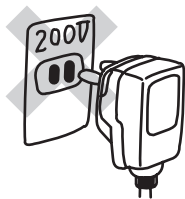


- 爆発や火災が発生するおそれがあります。



注意

交流 100V 以外は使用しない

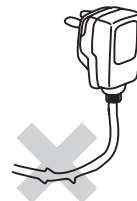


- 火災や感電の原因になります。

電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



- 感電・ショート・発火の原因になります。



漏電保護プラグにゴミが付着したまま使用しない



- ショートし発火するおそれがあります。

雷が鳴っているときは使わない



- コンセントから漏電保護プラグを抜いてください。
- 雷による過電流で故障の原因になることがあります。



異常なときは使用しない

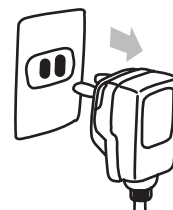


- 煙が出ている、変な音や臭いがするときは、すぐにコンセントから漏電保護プラグを抜いて、販売店または営業所にご連絡ください。

長期間ご使用にならないときは、電源を切り、水抜きする



- 絶縁劣化による感電や漏電火災または凍結破損による水漏れの原因になります。





注意

開口部から物をいれない



- 感電や故障の原因になります。

温風吹出口、部屋暖房吹出口に指を入れたり、ふさいだりしない



- やけどをしたり、火災や故障の原因になります。

乗ったり衝撃を加えない



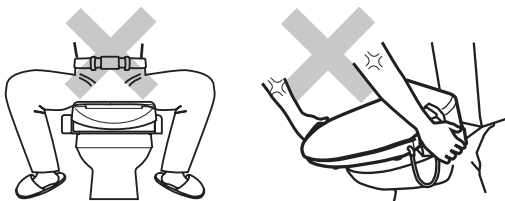
- 割れてけがをするおそれがあります。

便座ふたによりかからない



- 便座ふたが割れて転倒したりけがをするおそれがあります。

おそうじスライドを動かした状態、本体を立たせている状態で座ったり無理な力を加えない



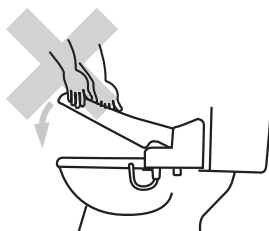
- 本体が破損し、けがをするおそれがあります。

シンナー、ベンジン、アルカリ・酸性洗剤、薬品、殺虫剤、芳香剤をかけたたり、たわしでこすったりしない



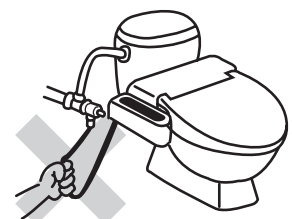
- 便座などがひび割れし、けがや火災の原因になります。

便座・便座ふたは無理に閉めない



- 故障の原因になります。

連結ホースに力を加えない

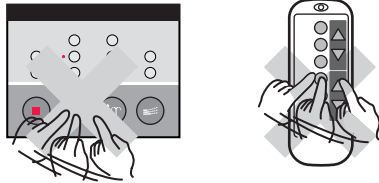


- 漏水の原因になります。



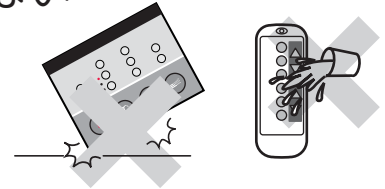
注意

スイッチは必要以上に強く押し
したり、早く操作しない



●故障の原因になります。

リモコンは落としたり、水を
かけたりしない



●リモコンは床や便器に落とすと故障や破損の
原因になります。

直射日光に当てない



●変色やリモコン操作
不良の原因になるこ
とがあります。



トイレ暖房用ストーブ・ヒー
ターを近づけない



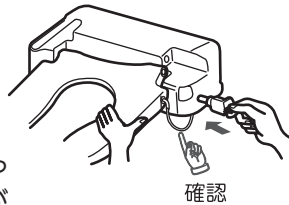
●火災や故障や変色の原因に
なることがあります。



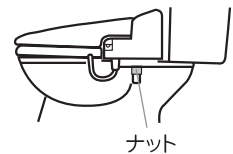
便座を外し元に戻す場合は便座
コードをねじらない



●コードが断線し、火災や
故障の原因になることが
あります。



本体・便座がずれたら



着座スイッチが便座にのっているか確認し、取付
ボルトのナットを適度の強さに締め直してくださ
い

●故障や水漏れの原因になります。

おそうじスライドがずれたら



本体を一旦収納して、便座と便器の先端を合わせ
て、取付ボルトのナットを適度の強さに締め直し
てください

●本体が破損し、けがをするおそれがあります。

おそうじスライドを戻す時は
本体がロックされるのを確認
する



●本体が破損し、けがをするおそれがあります。



逆流防止装置の定期点検を行う

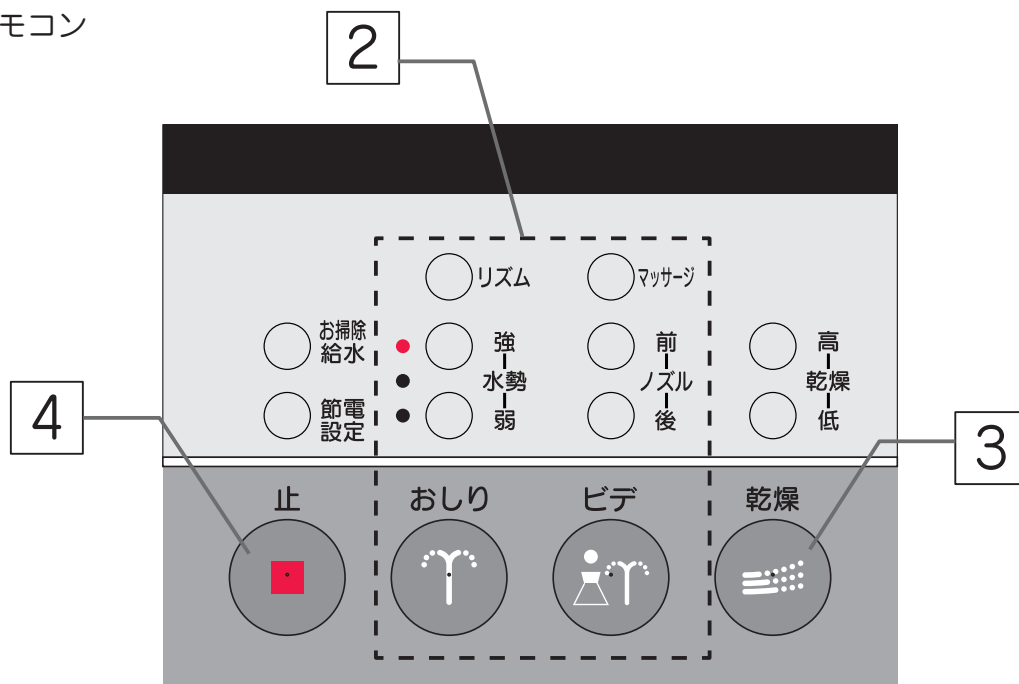
●水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因となるおそれがあります。

お使いになる前の準備

お使いになる前に17ページおよび18ページをよくお読みになり、試運転を行ってください。

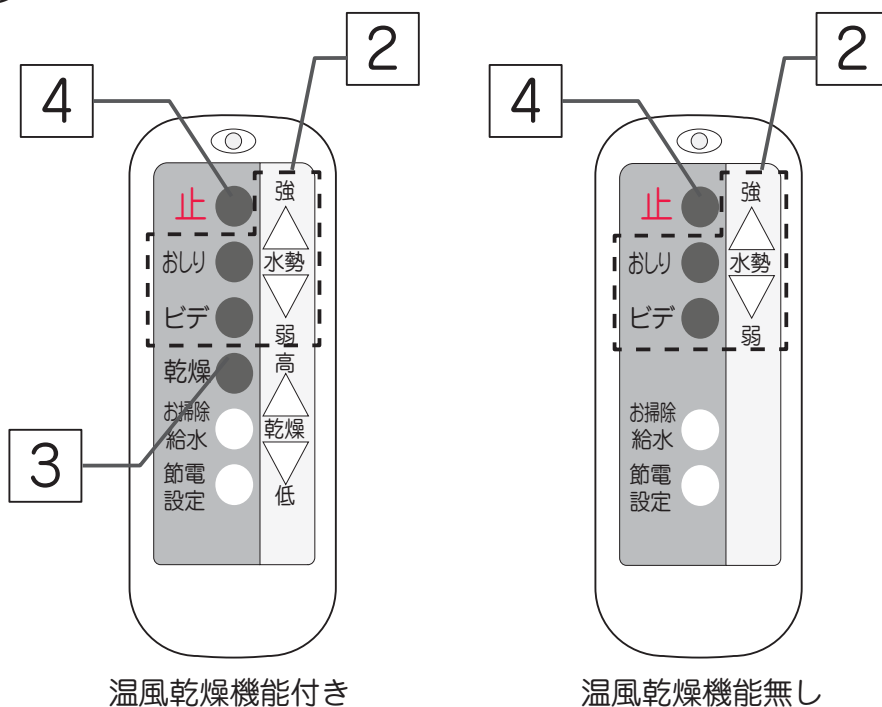
リモコン操作方法

大型リモコン



イラストは部屋暖房、温風乾燥機能付き (HC-3000TH用) の操作パネルを示しています。

標準リモコン



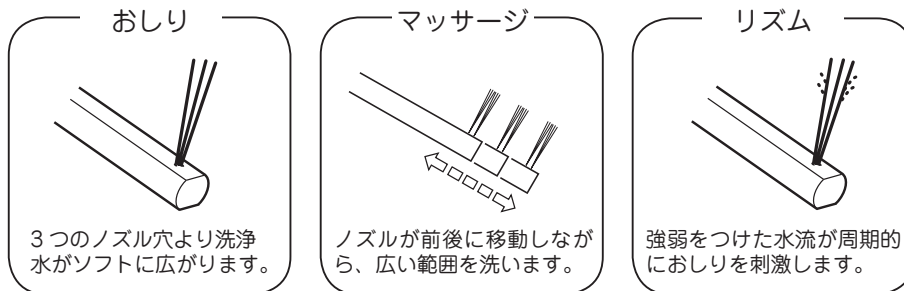
1 座る

着座すると脱臭が自動的に入り、便座から立ち上がると約2、3分後に停止します。
(脱臭機能付きの場合)

2 洗浄

トリプルシャワー付きの場合は

おしり洗浄 3種類のいずれかのスイッチを押します



トリプルシャワー無しの場合は

おしり洗浄 おしり洗浄スイッチを押します

ビデ洗浄 ビデ洗浄スイッチを押します

- 水勢が6段階に調節できます。
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- ノズルの位置が調節できます(トリプルシャワー付き)。
- 連続約2分間使用しますと自動停止します。止スイッチを押さないで、洗浄モードを切り替えて使用した場合も、使い始めてから約2分間で自動停止します。
- マッサージ洗浄とリズム洗浄はおしり洗浄のみです。

3 温風乾燥 (温風乾燥機能付きの場合)

温風乾燥スイッチを押します

- 温風温度は本体の温風乾燥温度調節スイッチで約40～65℃の6段階および「切」に調節できます。
操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- あらかじめ水滴をトイレットペーパーでふき取ると、早く乾きます。
- 連続約5分間使用しますと自動停止します。

4 停止

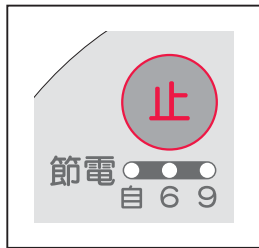
止スイッチを押します

- 水勢および温風乾燥の温風温度は、最後に使った調節状態を記憶しています。
(水勢はおしり洗浄またはビデ洗浄のどちらか最後に使った水勢を記憶します)
- 電池の寿命等でリモコンが使えない場合でも、本体操作パネルからおしり洗浄のみ操作できます。
- リモコンが作動しなくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。
(電池交換方法は32ページをご覧ください)

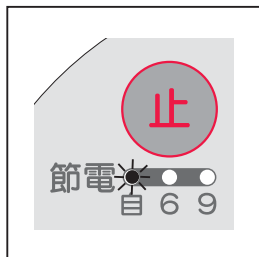
リモコン操作方法の続き（節電モード）

節電モード説明

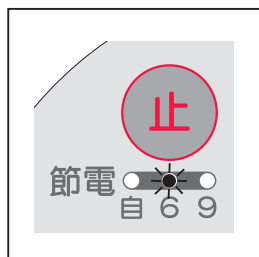
本体操作部の「自動節電ランプ」、「6時間タイマー節電ランプ」、「9時間タイマー節電ランプ」の3つのランプ（28ページを参照してください）が消えた状態（通常運転）から、リモコンの節電設定スイッチを押すたびに節電ランプが点灯し、【自動節電】→【6時間タイマー節電】→【9時間タイマー節電】→節電解除（通常運転）と節電モードを切り替えることができます。



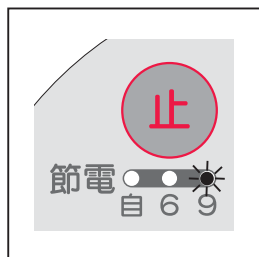
（通常運転）



【自動節電】



【6時間タイマー節電】



【9時間タイマー節電】



運転区分		ご使用する際のポイント
通常運転		節電動作をしない通常使用状態の運転を行います
節電運転	自動節電	わずらわしい操作をすることなく節電効果を高めることができます
	タイマー節電	おやすみ時やお出かけされる時など、ファミレットを使わない時間帯がわかっている場合に効果的です

自動節電

- 「節電設定スイッチ」を押して、「自動節電ランプ」を点灯させます。これにより自動的に温水と便座の温度が低くなり、節電状態になります（自動節電の具体的な節電方法は次頁をご覧ください）。

※自動節電中に着座すると、2～3分で便座が温かくなってきます。

タイマー節電

- 「節電設定スイッチ」を押して、「6時間タイマー節電ランプ」または「9時間タイマー節電ランプ」を点灯させます。これにより自動的に温水ヒータと便座ヒータの通電が停止します（暖房便座、温水とも室温程度となります）。
- 6時間または9時間が経過すると、自動的に温水ヒータと便座ヒータへ通電を開始し、通常運転に切り替わります。

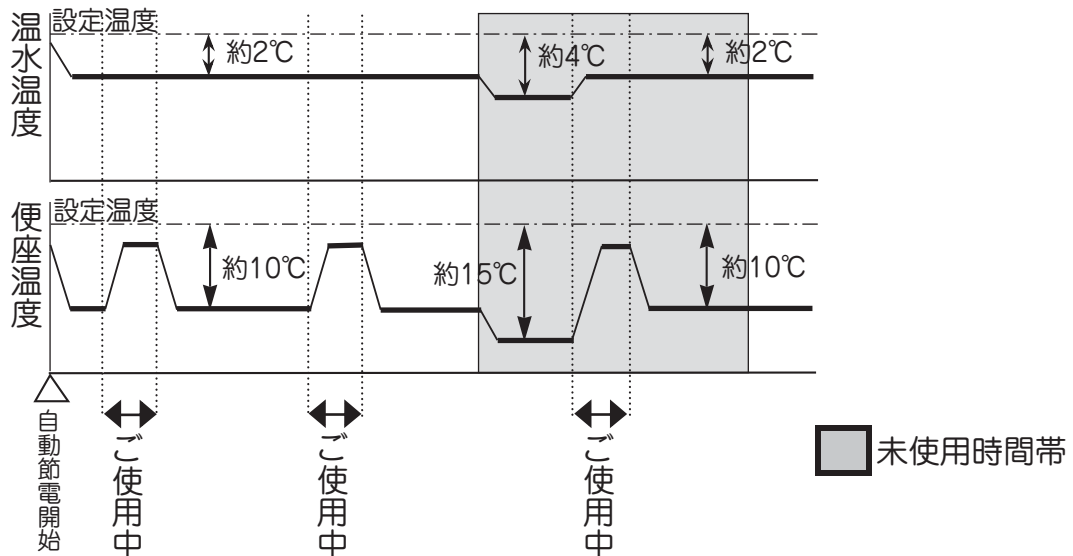
※タイマー節電中に着座すると最長約10分で温水、便座とも温かくなってきます（ご使用後は、温水ヒータと便座ヒータの通電を自動的に停止し、【タイマー節電】に戻ります）。

※【タイマー節電】はスイッチ操作から6時間または9時間後に自動解除されますが、設定時間経過前に解除したい場合は、「節電設定スイッチ」を押して、「6時間タイマー節電ランプ」と「9時間タイマー節電ランプ」を消灯させます。

自動節電の節電方法

- スイッチ操作後、温水温度と便座温度を通常運転時の設定温度より〔温水温度：約 2°C 、便座温度：約 10°C 〕下げて、自動節電を開始します。
- 過去1週間の間に1度も使用されなかった時間帯を、未使用時間帯として決定し、未使用時間帯については、通常運転時の設定温度より〔温水温度：約 4°C 、便座温度：約 15°C 〕下げて節電効率を高めめます。尚、未使用時間帯でご使用された場合、ご使用後は自動節電開始時の温度に戻ります。
- 設定温度は、実際の温水温度、便座温度とは異なります。

温度制御のイメージ



本体操作方法

1 座る

着座すると脱臭運転が自動的に入り、便座から立ち上がると約2、3分後に停止します。
(脱臭機能付きの場合)

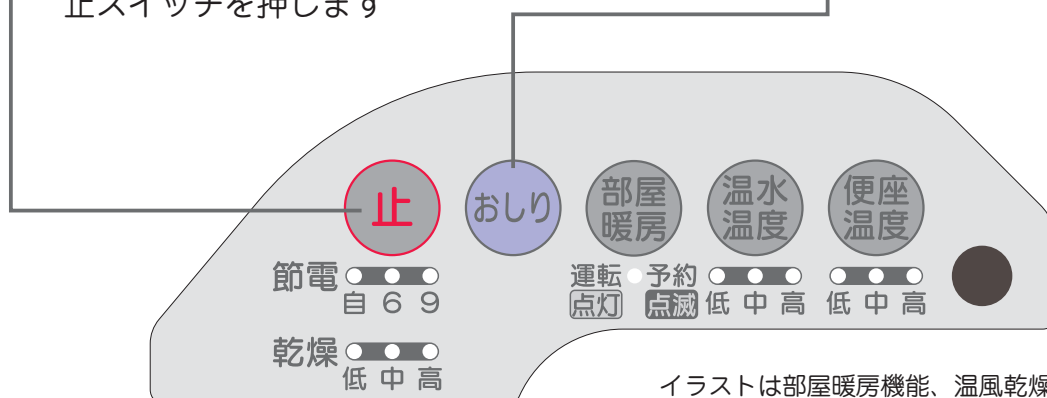
2 洗浄

おしり洗浄 おしり洗浄スイッチを押します

- 標準リモコン付きの場合は、水勢表示ランプに6段階の水勢設定に合わせて2段階ごとに弱、中、強のランプが点灯します。

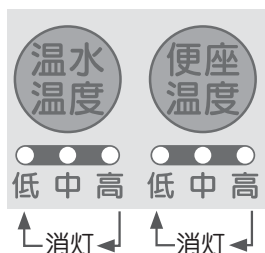
3 停止

止スイッチを押します



イラストは部屋暖房機能、温風乾燥機能付
HC-3000TH用を示しています

温水、便座の温度調節



スイッチを押す度に、低～高に温度が調節できます。

好みの温度に調節します。

- 温水温度は約 30 ～約 40℃の 6 段階および「切」に調節できます。
- 便座温度は約 30 ～約 40℃の 6 段階および「切」に調節できます。
- 操作音の 6 段階中 4 段階目は、長音でお知らせします。

温風乾燥（温風乾燥機能付きの場合）



- リモコンの温風乾燥温度調節スイッチを押すと約 40 ～約 65℃の 6 段階の温度設定に合わせて 2 段階ごとに 低、中、高 のランプが点灯、また「切」の場合はランプが消灯します。

部屋暖房（部屋暖房機能付きの場合）

ランプが消えた状態から部屋暖房スイッチを押すたびに、【暖房予約】 → 【暖房運転】 → 【暖房切】と切り替わります。



暖房予約（ランプ点滅）

- スイッチ操作後、ランプが点滅し、予約をお知らせします。
- 約 6 時間後、ランプが点滅から点灯に切り替わり暖房運転を開始します。
- 暖房運転開始から約 6 時間後、ランプが消灯し、自動停止します。

暖房運転（ランプ点灯）

- スイッチ操作後、ランプが点灯し、トイレ内の室温が約 15℃以下の場合、室温が約 15 ～ 20℃となるように暖房運転を行います。
- 約 6 時間後、ランプが消灯し、自動停止します。

〈注意〉スイッチ操作後、暖房運転停止中であっても、室温の確認のために約 30 分間隔で約 30 秒間ファンを運転します。



暖房切（ランプ消灯）

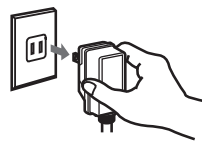
- スイッチ操作後、ランプが消灯し、暖房が停止します。

※暖房運転時間中（ランプ点灯開始から約 6 時間）に室温が約 20℃を超えた場合は、暖房運転を停止し、室温が約 15℃以下になると暖房運転を再開します。

※外気温、トイレ環境、大きさによっては、室温が 20℃にならない場合があります。

お手入れのしかた

- お手入れの前に必ず漏電保護プラグを抜いてください。



本体のお手入れ

本体表面および底面の汚れは、柔らかい布などに水を含ませ固く絞ってからふいてください。汚れがひどいときは、便座用中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、その後水ふきしてください。

- 乾いた布やトイレトペーパーでふかれた場合、表面にすり傷がつくことがあります。
- 洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用してください。
- アルカリ、酸性洗剤は便器へも使用しないでください。揮発したガスにより本体が故障、破損します。

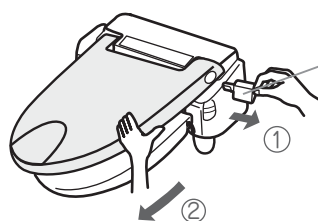
⚠ 注意



シンナー、ベンジン、アルカリ・酸性洗剤、芳香剤、殺虫剤、薬品をかけたり、たわしでこすったりしない。

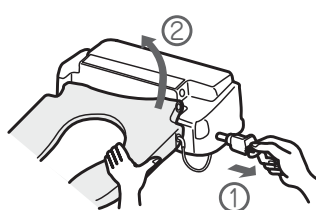
- 便座などがひび割れし、けがや火災の原因になります。

便座ふたの取外しかた



- ①便座ふたを閉じた状態で便座ふたダンパーを引き抜きます。
 - ②便座ふたを取外します。
- 便座ふたを開いた状態で無理に着脱すると破損するおそれがあります。

便座の取外しかた



- ①便座を閉じた状態で便座ダンパーを引き抜きます。
- ②便座を取外します。

便座コードは、本体から取外せませんので無理に引っ張らないでください。

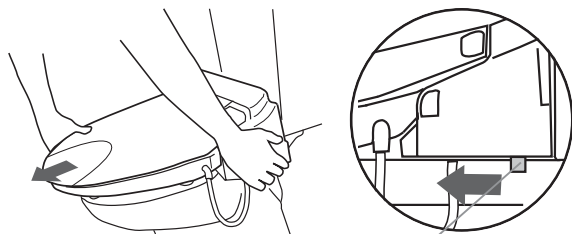
取付けかた

ダンパーは、便座・便座ふたを外した位置に戻して差し込みます。

- ダンパーを無理に差し込むと破損するおそれがあります。
- 便座コードは、ねじらないで取付けてください。断線し、火災や故障の原因になります。

おそうじスライド付の場合は、本体を約16cm引き出し、便器との隙間を清掃することができます。さらに、本体を立たせることにより、本体底面部分を清掃することができます。

おそうじスライドのしかた

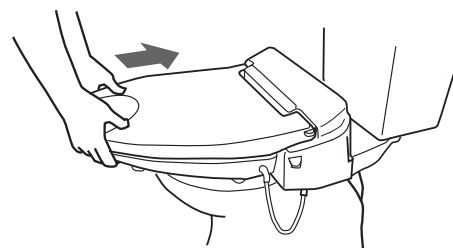


便座を持ち上げ、本体右下のレバーを引きながら、本体を手前にゆっくり引きます。

- 無理に持ち上げたり急激に引き出すと、部品が破損したり本体が落下したりします。
- 便座は、裏側のゴムが便器との摩擦でスライド動作の妨げになりますので、持ち上げて操作してください。
- 戻す際は、本体を持ち上げずに便器の上でスライドさせた状態で戻してください。

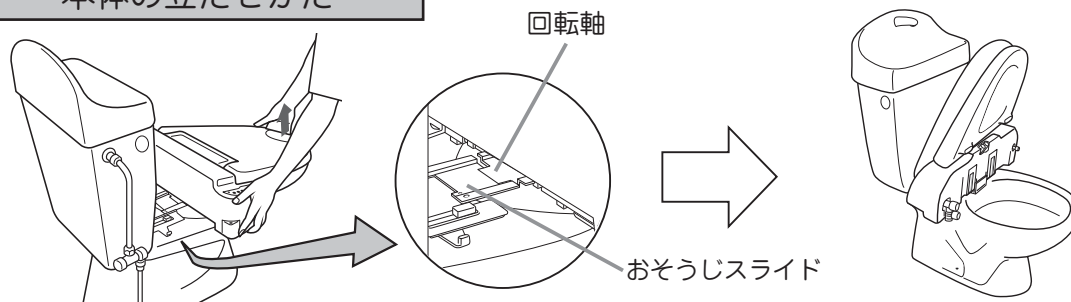
本体を持ち上げた状態では正しく戻らないので、再度、本体を手前に引き出してから戻してください。

おそうじスライドの戻しかた



便座を持ちながら「カチッ」とロック音ができるまでゆっくりと押し戻します。

本体の立たせかた



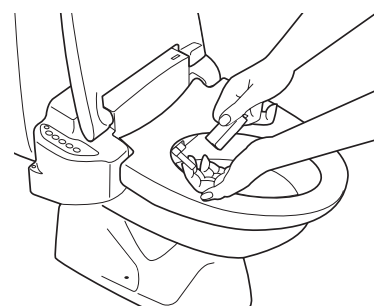
本体を最大までスライドさせた状態で、本体と便座を持ちながら、おそうじスライドの回転軸を中心に、本体背面がおそうじスライドまたはロータンクに接するまでゆっくりと本体を回転させて立たせます。

- 電源が入った状態で立たせた場合、ピーという警告音が鳴り、本体操作パネルのLEDが点滅し、本体の動作を全て停止状態にします。漏電ブレーカを抜いてから立たせてください。
- 便器の寸法によっては、本体がロータンクに当たり、斜めとなることがあります。
- 便座と便座ふたは必ず閉じた状態で本体を回転させてください。開いた状態で回転させた場合、便座や便座ふたで手や指を挟むことがあります。
- 本体を立たせた状態で清掃する際は、便座が倒れぬように便座または本体を支えてください。
- 本体を立たせた際は、連結ホースがつっぱったり、折れたりしないように注意してください。給水口または連結ホースが破損し水漏れの原因になります。
- 本体を回転させている途中または立たせた状態で無理な荷重をかけないでください。本体が破損する原因となります。
- 本体底面に水や洗剤を直接かけないでください。本体の故障の原因となります。
- 本体を元に戻す際は、本体底面が便器と接するまで本体と便座を持ちながら回転させてください。その後、おそうじスライドを戻してください。

ノズルのお手入れ（お掃除給水）

ノズルの先端を掃除する場合は、次の手順で行ってください。

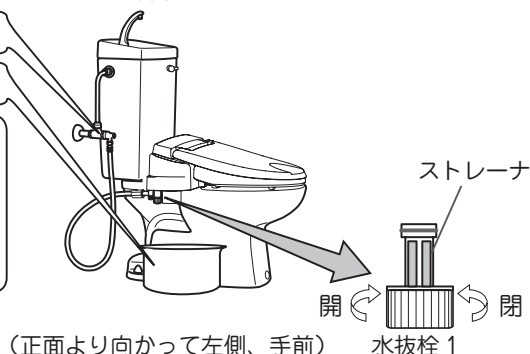
- ①コンセントに漏電保護プラグを根元まで確実に差込み、本体に通電します。
- ②リモコンのお掃除給水スイッチを押すと 30 秒間ノズルから水が出ます。
- ③ノズルを引き出し、柔らかいスポンジや布で軽くふいてください。
- ノズル穴が傷つかないように注意してください。
- ノズルに無理な力を加えないよう注意してください。
- ノズルを完全に引き出した場合は、ノズルから勢いよく水が出る場合がありますので注意してください。
- お掃除給水が終了する際、ノズルから勢いよく水が出る場合がありますので注意してください。
- トリプルシャワー付の場合、お手入れの後にノズルを完全に戻してください。



ストレーナのお手入れ

洗浄水の出が悪くなったときは、次の手順でストレーナを掃除してください。

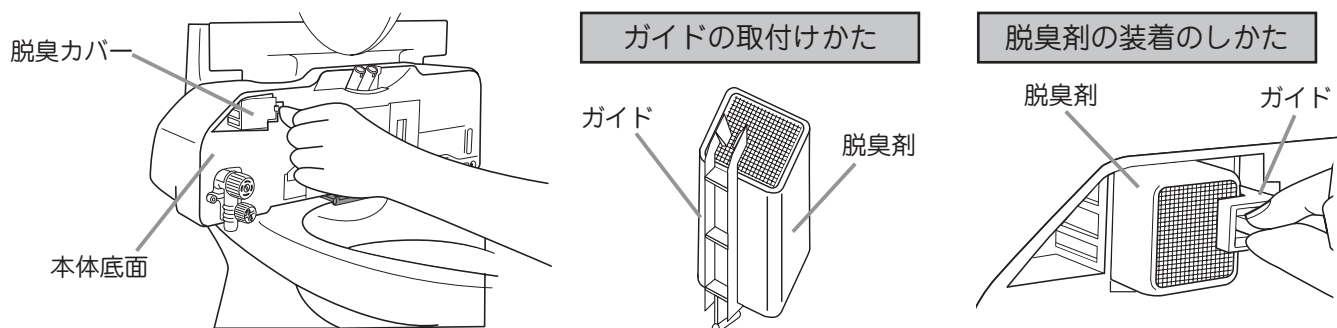
- ①分岐金具の止水栓を右に回して閉めます。
- ②本体底面の水抜栓 1 の下に広口容器を置きます。
- ③水抜栓 1（大きいツマミ）を外します。
- ④ストレーナを柔らかいブラシなどで掃除します。
- ⑤水抜栓 1 を元通りに締めます。
- ⑥分岐金具の止水栓を左に回して開け、水漏れが無いか確認します。



脱臭カセットの取り替え

脱臭カセット取り替えます。

- おそうじスライド付きでは、本体を便器上で立たせた状態で脱臭カセットを取り替えます。
 - おそうじスライド付きでない場合、本体を便器から外さないと脱臭剤の交換はできません。交換する場合は、止水栓で本体への給水をとめてから、本体を固定しているナット（P14 参照）を便座取付工具等を使いゆるめて本体を引き出し、下図のように本体を立たせた状態で脱臭カセットを取り替えます。交換終了後は、本体を元通り便器に固定してください。
- ①本体底面の脱臭カバーを外します。古い脱臭剤を引き出します。
 - ②ガイドに新しい脱臭剤を挟み込みます。
 - ガイドの位置は図のように端に寄った位置に脱臭剤を挟み込んでください。
 - ③ガイドと収納部のレールを合わせ、脱臭カセットを収納部に脱臭ガイドが完全に収納されるまで挿入してください。
 - ④脱臭カバーを元通りに取付けます。
 - ⑤ラベルに使用開始日を記入して、本体のわかりやすい場所に貼付けてください。



⚠ 注意



脱臭カセットには絶対に洗剤をかけない

- アルカリ系洗剤がかかったときは、すぐ換気してください。有害な塩素系ガスが発生し危険です。

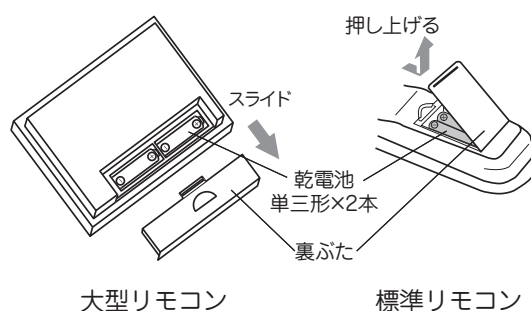
- 脱臭剤の寿命は通常使用で約7年です。
※脱臭剤の寿命は4人家族を基本としています。
- 脱臭カセットの購入は、お求めの販売店または営業所にお申し付けください
(型番：HC-DC-E)。また、交換作業が必要な場合も、お申し付けください(有料)。

脱臭カセット取付け、交換時のご注意

脱臭カセットを取付けまたは交換する際には、次回交換の目安として、脱臭カセットのラベルに使用開始日を記入してください。

電池交換（リモコン）

- ①リモコンをホルダーより取出します。
- ②裏ぶたを外します。(右図)
- ③新しい電池を入れます。
 - \oplus \ominus の向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
 - 電池の寿命は通常約1年です。(マンガン乾電池の場合)
 - 取替えは2個とも新しい同種のものにしてください。
 - 2ヶ月以上ご使用にならないときは電池を取出しておいてください。
- ④裏ぶたを取付け、リモコンをホルダーに戻します。



凍結予防について

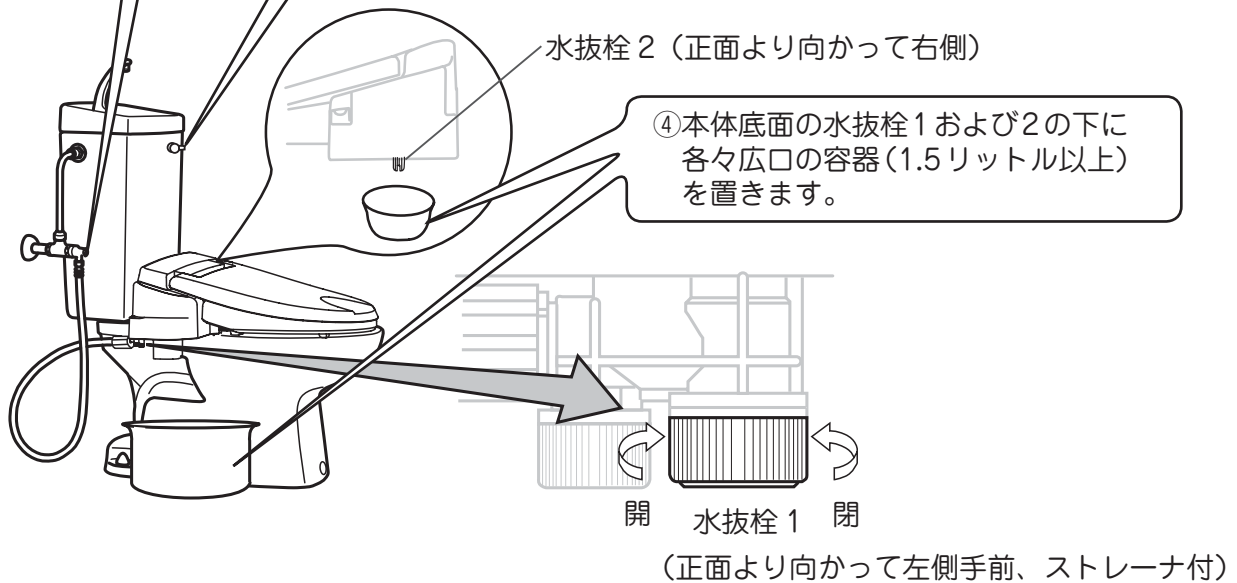
水抜きのかた - すぐにご使用にならない場合 -

冬期、凍結のおそれがある場合やすぐにご使用にならない場合は、本体内の水抜きをしてください。

①漏電保護プラグを抜きます。

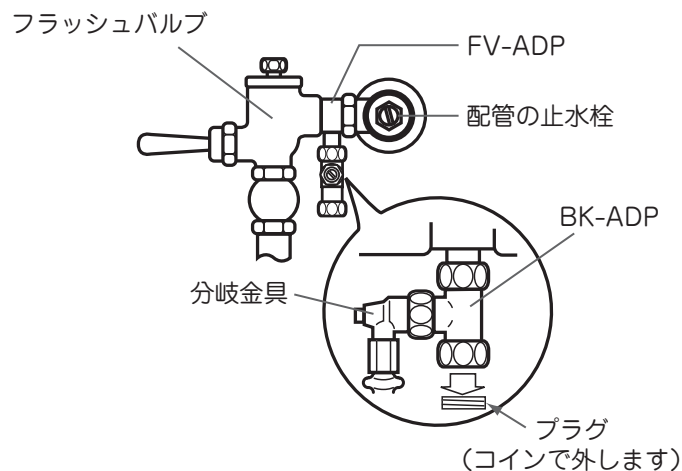
②分岐金具の止水栓を右に回して閉めます。

③ロータンクのレバーを操作して、ロータンク内の水を排水します。



⑤水抜き栓 1、水抜き栓 2 を回してゆるめ、水抜きをします。

- 水抜きの際は、連結ホースを持ち上げてホース内の残水を抜いてください。
- フラッシュバルブをお使いの場合は、BK-ADP のプラグを外すとスムーズに水抜きできます。



⑥水抜きが終わりましたら水抜き栓 1、水抜き栓 2 を元通りに締めます。

仕 様

全機種共通

項 目	内 容	
区分	貯湯式	
定格	交流100V 50/60Hz 最大560W	
使用可能給水圧力	0.07～0.74MPa (0.7～7.5kgf/cm ²)	
外形寸法	幅492×奥行534×高さ215mm	
本体質量	約6 kg	
電源コード	長さ1.1m、漏電保護プラグ(15mA、0.1秒以内)付き	
温水洗浄装置	おしり洗浄	0.6～1.1L/分 ^{※1} 3穴シャワー
	ビデ洗浄	0.7～1.1L/分 ^{※1} 7穴シャワー
	水勢調節	おしり・ビデ各々6段階
	温度調節	6段階調節(約30～40℃)、およびヒーター「切」
	温水ヒーター	505W
	貯湯量	0.99L
暖房便座装置	便座ヒーター	49W
	便座材料	抗菌材入りプラスチック
	温度調節	6段階調節(約30～40℃)、およびヒーター「切」
ソフト閉止	便座および便座ふた	
誤動作防止装置	着座スイッチ	
年間消費電力量	198 (269) kWh/年 ^{※2}	

脱臭機能付きのみ

脱臭装置	触媒脱臭方式
------	--------

温風乾燥機能付きのみ

温風乾燥装置	温風ヒーター	320W
	温度調節	6段階調節(約40～65℃)、およびヒーター「切」

部屋暖房機能付きのみ

部屋暖房装置	温風ヒーター	300W
	設定温度	約20℃ ^{※3} とヒーター「切」
通常運転	運転時間	約6時間で自動停止
予約運転	運転開始時間	スイッチを入れてから6時間後に運転開始
	運転時間	運転開始後、6時間で自動停止

※1：水量は給水圧力0.15～0.74MPa (1.5～7.5kgf/cm²) の場合です。

使用可能給水圧力は0.07～0.74MPa (0.7～7.5kgf/cm²) ですが、0.07～0.14MPa (0.7～1.4kgf/cm²) で使用する場合は、最大水量が少なくなったり、十分な水勢が得られていても他の器具で水を使ったために給水圧力が下がり、十分な水勢が得られないことがあります。

また、低給水圧力の場合、水勢「弱」では吐水しないことがあります。

※2：省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値。()内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

※3：室温やトイレの構造により、設定温度まで上がらない場合があります。

故障かなと思ったとき

「取扱説明書」に従って使用して、不明な点があるときや、異常を見つけたときは、次のことを点検してください。なお、アフターサービスについては、36ページをご覧ください。

1. 停電中または断水でないこと。
2. 漏電保護プラグが確実にコンセントに差し込まれており、通電状態(漏電表示ランプが点灯)になっていること。(17ページをご覧ください)
3. 不要電波(外部ノイズ)により一時的に誤動作することがあります。この時は、不要電波の影響が無くなるまで電源を切ってください。
繰り返し誤動作する場合は、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼される前にご確認ください

症 状	確 認 す る と こ ろ	ご参照ページ
暖房便座が暖まらない 洗浄水が出ない	●漏電保護プラグが抜けていませんか。 ●漏電保護プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか。	17 ページ
洗浄水が出ない	●止水栓が閉まっていますか。 ●便座に座っていますか。 (または前側を強く押して操作しましたか)	17 ページ
水勢が弱い ノズルが出ない	●水抜栓1のストレーナがつまっていますか。 ●給水圧力が下がっていませんか。	31 ページ 34 ページ
暖房便座がぬるい・冷たい 洗浄水がぬるい・冷たい 温風温度がぬるい・冷たい	●温度調節が「切」または低温に調節されていませんか。 ●節電に設定されていませんか。	29 ページ 26 ページ
脱臭効果が感じられない	●脱臭カセットが古くなっていませんか。	32 ページ
洗浄、乾燥スイッチが入らない	●本体、便座がずれていませんか。	23 ページ
リモコンのスイッチを 押しても作動しない	●リモコンの電池が古くなっていませんか。 (電池を取り替えてください) ●本体操作パネルのリモコン受信部やリモコンの発信部が トイレットペーパーなどでおおわれていませんか。	32 ページ 本ページの 次項目

知っておいていただきたいこと

- 洗浄停止中でもノズルから水がでることがあります。
これは温水タンクの水が沸き上がった時の膨張水またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。
- スイッチを押した後に、音がすることがあります。
これは装置の駆動音で異常ではありません。
- おそうじスライド付きの場合、本体がロックおよび立っている状態で若干のガタツキがありますが、おそうじスライドのすきまによるもので異常ではありません。
- 電源が入った状態で本体を回転させた場合、ピーという警告音が鳴ります。電源を落としてください。
- シューという音がすることがありますが、これは温水の沸き上げ音で異常ではありません。
- 温水洗浄便座を2台以上並べて使う場合は、リモコンが混信し、誤作動することがあります。
- 本体操作パネルのリモコン受信部とリモコンの発信部の間に障害物があると、リモコンで操作できないことがあります。
- 電子点灯式の蛍光灯をお使いの場合、リモコンの信号を受けつけない場合があります。
- 温水タンク内の温水を使い終わると洗浄水が冷たくなります。この場合は、約7分程度洗浄を止めてからご使用ください。

アフターサービスについて

取り扱い・修理・その他商品に関するご相談は、お買い上げの販売店へ
お買い上げの販売店へ依頼できない場合は、当社各窓口へお問い合わせください。

保証書について

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
取扱説明書・工事説明書とともに大切に保管してください。

保証期間について

◆保証期間はお買い上げ日より1年間です。

補修用性能部品について

◆補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
※補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

- ◆お客様が弊社にお電話にてご連絡いただいた場合には、ご相談への対応や修理などに利用するため、お客様の個人情報やご相談内容を記録させていただくことがあります。
- ◆ご相談への対応や修理などのために利用するため、弊社販売会社、サービス会社等に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

修理を依頼されるときは

- ◆正常に動作しないときは「故障かなと思ったとき」[\[35\]](#)をご覧ください。
それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、当社窓口にご連絡ください。
※ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 1. 型式（保証書に記載）
 2. お買い上げ日
 3. 故障、異常の現象：できるだけ詳しく
 4. お客様のお名前、ご住所、電話番号、道順

保障期間中は：修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保障期間後は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理させていただきます。

転居されるときは

◆転居で、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。（再設置費用は、保証期間内であっても有料です）

定期点検について（有料）

- ◆逆流防止装置（バキュームブレーカ）は、設置日から必ず6年ごとに定期点検（部品交換）を行ってください。（水が逆流し、人体に影響をおよぼす原因となるおそれがあります）
- ◆機能部品は、ご使用開始後3年程度での定期点検をおすすめします。
- ◆定期点検は、お買い上げの販売店または当社窓口にお申し付けください（有料）。

ご使用の際
このような
現象はあり
ませんか？

- 水漏れがする。
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体に触るとビリビリ電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないときがある。
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- その他、異常・故障がある。

ご使用
中 止

このような現象のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから漏電保護プラグを抜いて必ずお買い上げの販売店または当社窓口にご相談ください。

◆設置日、定期点検を行った期日を表中に記入し、次回の点検時期の目安にしてください。

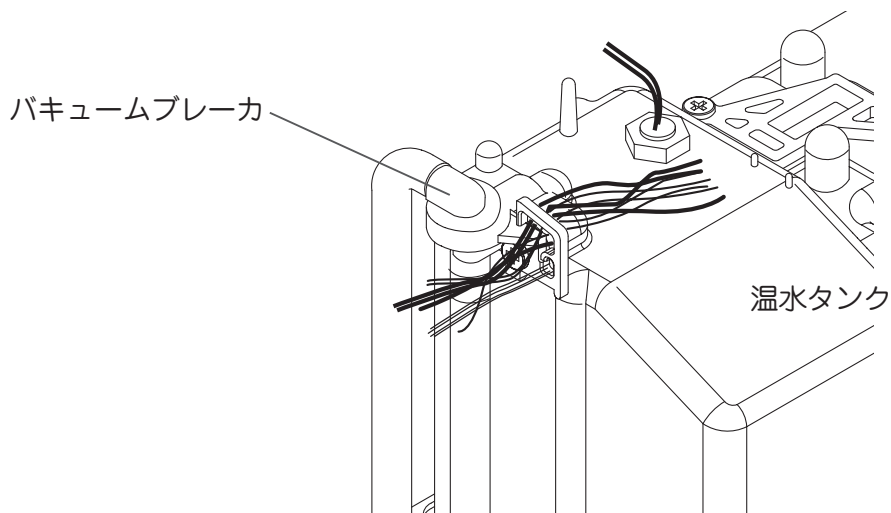
《定期点検期日記入表》

	期 日	定期点検項目（項目に○）
設置期日		
1回目点検日		機能部品 逆流防止装置
2回目点検日		機能部品 逆流防止装置
3回目点検日		機能部品 逆流防止装置

バキュームブレーカの交換

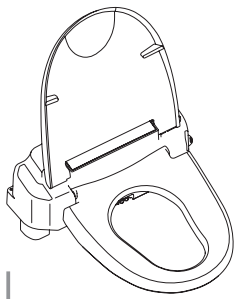
温水タンクのノズル駆動装置側出口部分にバキュームブレーカが装着されています。
ネジ(2本)とホースを外し、バキュームブレーカを交換します。

- ◆本体ケースを外す前に漏電ブレーカをコンセントから抜いておいてください。また、温水タンクの水抜きを
してください。
- ◆バキュームブレーカ交換後は水漏れがないことを確認してください。



ハウステックお客様ご相談窓口のご案内

<p>商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）</p> <p>0120-80-1761</p> <p>●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。</p>	<p>修理のご用命は</p> <p>0120-10-2471</p> <p>●受付時間 365日 24時間</p>	<p>補修部品のご購入は（代引き販売窓口）</p> <p>0120-45-5621</p> <p>●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



メモ欄として活用してください

サービス網一覽表

区分	社名	〒	所在地	電話
東北地方	(有)青森日化サービス	039-3321	青森県東津軽郡平内町大字小湊字新道 46-203	(017) 755-4596
	岩手日化サービス(株)	020-0402	岩手県盛岡市黒川 22-56	(019) 696-5611
	(株)宮城日化サービス	981-0954	宮城県仙台市青葉区川平 1-5-30	(022) 278-2087
	秋田日化サービス(株)	010-0802	秋田県秋田市外旭川字三千刈 106-1	(018) 863-0648
	(株)山形日化サービス	994-0002	山形県天童市大字乱川 3640-3	(023) 652-3210
	福島日化サービス(株)	963-0725	福島県郡山市田村町金屋字新家 81-2	(024) 944-4815
関東地方	茨城日化サービス(株)	312-0063	茨城県ひたちなか市田彦 434-1	(029) 274-2451
	(株)栃木日化サービス	321-0971	栃木県宇都宮市海道町 511-3	(028) 662-2662
	群馬日化サービス(株)	373-0847	群馬県太田市西新町 13-14	(0276) 31-6290
	埼玉日化サービス(株)	331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町 2-111-8	(048) 666-1101
	中央日化サービス(株)	262-0013	千葉県千葉市花見川区横橋町 1627-12	(043) 259-2971
	神奈川営業所	231-0026	神奈川県横浜市中央区寿町 1-3-5	(045) 641-7351
	東京住宅機器サービス(株)	351-0113	埼玉県和光市中央 1-5-44	(048) 469-3511
甲信越地方	新潟日化サービス(株)	950-0807	新潟県新潟市東区木工新町 443-1	(025) 272-0080
	山梨日化サービス(株)	409-3853	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 907-1	(055) 275-6911
	長野日化サービス(株)	380-0941	長野県長野市大字安茂里 1557-1	(026) 228-6138
中部地方	中部日化サービス(株)	492-8425	愛知県稲沢市増田北町 109-5	(0587) 23-2800
	岐阜営業所	500-8282	岐阜県岐阜市茜部大川 1-94	(058) 273-8744
	富山営業所	939-8214	富山県富山市黒崎 111-1	(076) 493-6612
	金沢営業所	920-0067	石川県金沢市二宮町 15-13	(076) 231-1772
	福井営業所	918-8231	福井県福井市問屋町 1-248	(0776) 25-6371
	三重支店	514-0003	三重県津市桜橋 1-682	(059) 228-1367
	静岡支店	422-8036	静岡県静岡市駿河区敷地 2-26-28	(054) 237-8001
近畿地方	近畿日化サービス(株)	578-0911	大阪府東大阪市中新開 2-5-7	(0729) 60-0909
	京滋営業所	520-0106	滋賀県大津市唐崎 3-5-3	(077) 578-3775
	和歌山営業所	640-8392	和歌山県和歌山市中之島 308	(073) 473-1534
	神戸営業所	658-0082	兵庫県神戸市東灘区魚崎北町 4-3-15	(078) 435-6030
	(株)兵庫日化サービス姫路	671-1151	兵庫県姫路市広畑区早瀬町 1-48-3	(0792) 39-4777
	奈良日化サービス(株)	639-1053	奈良県大和郡山市千日町 25-2	(0743) 55-0437
中四国地方	(有)山陰日化サービス	690-0001	島根県松江市東朝日町 168-8	(0852) 21-0030
	近畿日化サービス(株) 岡山営業所	700-0975	岡山県岡山市今 8-12-22-101	(086) 246-7071
	広島日化サービス(株)	734-0013	広島県広島市南区出島 2-4-34	(082) 255-1580
	山口営業所	754-0022	山口県山口市小郡花園町 5-13	(083) 973-0880
	徳島日化サービス(有)	770-8070	徳島県徳島市八万町寺山 240-1	(088) 668-4587
	(有)香川日化サービス	761-0104	香川県高松市高松町 1452-19	(087) 841-4922
	愛媛日化サービス(株)	790-0043	愛媛県松山市保免西 2-3-11	(089) 971-2230
九州地方	(有)北九州リフォーマーサービス	802-0841	福岡県北九州市小倉南区北方 2-6-2 A-6	(093) 922-1822
	(株)佐賀日化サービス	840-0862	佐賀県佐賀市嘉瀬町大字扇町 2398-1	(0952) 22-7485
	長崎営業所	854-0001	長崎県諫早市福田町 2567-7	(0957) 21-0300
	(有)熊本日化サービス	860-0073	熊本県熊本市島崎 1-31-14	(096) 354-0878
	(有)大分日化サービス	870-0904	大分県大分市向原東 2-3-24	(097) 573-1330
	(有)宮崎日化サービス	880-0301	宮崎県宮崎市佐土原町上田島 3945-19	(0985) 74-3024
	(有)鹿児島住機サービス	899-3203	鹿児島県日置市日吉町吉利 2784-1	(099) 292-5270

(2009年1月現在) ※住所・電話番号は変更する場合がありますのでご了承ください。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で故障した場合には、本書の記載内容により無料修理を行うことを約束するものです。

お買い上げの日から下記保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.

*型式・お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご記入ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しを控えとさせていただきます場合は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のため記載内容を利用させていただきますことがございますので、ご了承ください。

※型式	製造番号	※お客様	お名前	様
※お買い上げ日 平成 年 月 日			ご住所 〒	
保証期間 お買い上げ日より 1 年			電話 ()	
※販売店	住所・店名	株式会社 ハウステック		
	電話 ()	〒173-0004 東京都板橋区板橋3-9-7		

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) ご使用上の誤り、不注意、過失、施工に起因する故障および損傷、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数など）および給水の供給事情による故障および損傷および自然磨耗。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用の長期間使用、車輛、船舶等への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要する場合。
 - (チ) 地方条例に基づく上水道以外の水をご使用の場合。
- 離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

- 贈答品等で本書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口にお問い合わせください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した保証期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

●修理経歴

	修理内容	サービス担当者
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

ハウステックお客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは (お客様相談窓口) 0120-80-1761 ●受付時間 平日の9:00～17:30 (但し12:10～13:00の間は除く) 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	修理のご用命は 0120-10-2471 ●受付時間 365日 24時間	補修部品のご購入は (代引き販売窓口) 0120-45-5621 ●受付時間 平日の9:00～17:30 (但し12:10～13:00の間は除く) 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

株式会社 ハウステック

〒173-0004 東京都板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル

www.housetec.co.jp

Printed in Japan 734T0845LA

